

# 火災通報装置

## CAFJ002-R

### 取扱説明書

(一財) 日本消防設備安全センター 適合認定品  
CAFJ002-R 火災通報装置 火通-045 号  
(一財) 電気通信端末機器審査協会 技術基準適合認定品  
CAFJ002-R 火災通報装置 A16-0095001  
CAPJ001-R 火災通報専用電話機 P96-0021-0

能美防災株式会社



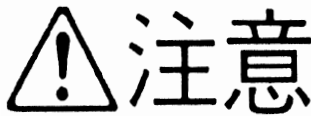
# 安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 本文中のマーク説明



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- この装置は、日本国内用に設計されています。電圧や電話交換方式の異なる海外では使用できません。  
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.  
お読みになったあとは、この取扱説明書をいつでも見られる場所に、必ず保管してください。

# 警告

- ◆ 装置を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。（分解・改造は法律で禁止されています。）
- ◆ 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、付属以外の電源プラグを使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ◆ 電源プラグは確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属等が触れると火災・感電の原因となります。
- ◆ ボイラーや加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ◆ 電源プラグのコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- ◆ 濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の原因になります。
- ◆ 装置に水が入ったりしないようにご注意ください。また、水滴がついたときは、乾いた布で拭き取ってください。万一、水が入ったときは、電源プラグを抜いてから当社の本社・支社・営業所にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・感電の原因となります。
- ◆ 雷が激しいときは、電源プラグ、電話回線コードに触れないでください。感電の原因となります。
- ◆ 装置のそばにクリップ・安全ピンなどの金属類を置かないでください。端子がショートし、火災・感電・熱発生によるやけどの原因となります。
- ◆ 装置のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- ◆ テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
- ◆ 傾いた台の上や、振動、衝撃の多いところに設置しないでください。落下・転倒の恐れがあり、けがの原因となります。また、万一、落下、転倒により破損したときは、電源プラグを抜いてから当社の本社・支社・営業所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ◆ 装置のバッテリーは、必ず専用のものを使ってください。また、バッテリーは、火の中に投入したり、分解や加熱しないでください。火災・けがの原因となります。

# 注意

- ◆ 装置を壁掛けにすると、装置の重みにより落下しないよう堅固に取り付け・設置してください。落下してけがの原因となることがあります。
- ◆ 電池を入れるときは、極性表示(⊕と⊖の向き)に注意し、指示通りに入れてください。また、指定以外の電池の使用はしないでください。
- ◆ 直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのためにいちじるしく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- ◆ 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ◆ 装置の電源プラグのコードを熱器具に近づけないでください。装置の電源プラグのコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ◆ 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグ本体を持って抜いてください。コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
- ◆ 電源プラグの刃にほこりが付着している場合は、よく拭き取ってください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ◆ 装置を移動させる場合は、必ず電源プラグ、電話回線コードを抜いてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
- ◆ 装置の信頼性を維持、確保するため、および使用者の安全性を確保するため必ず接地アースを接続してください。
- ◆ 保守点検の際は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。また通電中に行う場合は、感電に気をつけて行ってください。

## 火災通報装置のご使用にあたっては、 下記の項目について十分に留意してください。

1. 火災通報装置は、火災の通報のみに使用できるものであり、救急要請または救助要請などの通報には使用できません。
2. 火災通報装置を設置した防火対象物の火災の通報のみに使用できるものであり、隣棟等の火災の通報は一般の電話機にて行ってください。
3. 火災通報装置により通報した後、誤って通報したことが判明した場合には直ちに本装置または、火災通報専用電話機にて取消操作を行ってください。  
消防機関から呼返しがあった場合には、速やかに火災通報専用電話機の受話器をとって誤って通報したことを伝えてください。
4. 火災通報装置により通報した後、火災状況に関する具体的な内容について、消防機関から呼返しがあった場合には、速やかに火災通報専用電話機の受話器をとって説明してください。
5. 火災通報装置の電源部の工事、電話回線の工事以外の設置工事においても、消防設備士甲種第4類の免許が必要です。また、常に適正な通報が行えるように定期的に保守点検を受けてください。
6. 火災通報装置は、自動火災報知設備の作動や火災通報ボタンの操作により、火災発生の通報をおこないます。したがって消火を行う装置ではありません。  
万一の事故・災害による損害については、責任を負いかねますので了承ください。

# 目 次

|                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| 1. はじめに .....                        | 1 |
| 2. 概要 .....                          | 1 |
| 3. システム構成 .....                      | 1 |
| 4. 各部の名称 .....                       | 3 |
| 4-1. 各部の名称と機能 .....                  | 3 |
| 4-2. 火災通報装置内部の各部名称 .....             | 4 |
| 5. 操作手順 .....                        | 6 |
| 5-1. 火災発生時の操作手順 .....                | 6 |
| 5-2. 誤って火災通報ボタンを押してしまった場合の操作手順 ..... | 7 |

## 工事・保守編

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 6. 工事説明 .....                       | 8  |
| 6-1. 機器の接続について .....                | 8  |
| 6-2. 機器の外部配線抵抗 .....                | 8  |
| 6-3. 接続図 .....                      | 11 |
| 6-4. 火災通報装置 CAFJ002-R .....         | 14 |
| 6-5. 火災通報専用電話機 CAPJ001-R .....      | 18 |
| 6-6. 電話機増設装置 CAIJ003-R .....        | 19 |
| 6-7. ターミナルアダプタ TA/T との接続 .....      | 21 |
| 7. 設定および登録 .....                    | 22 |
| 7-1. ディップスイッチによる設定 (SW1) .....      | 22 |
| 7-2. ジャンパーによる設定 (JP2、JP3、JP5) ..... | 22 |
| 7-3. テンキーと7セグメントLEDによる登録と確認方法 ..... | 23 |
| 8. 機能 .....                         | 27 |
| 8-1. 通報の優先順位機能 .....                | 27 |
| 8-2. 強制切断機能 .....                   | 27 |
| 8-3. 音声メッセージ .....                  | 27 |
| 8-4. 火災通報ボタン、自火報の短絡検出機能 .....       | 28 |
| 8-5. 短絡監視を行う場合の接続 .....             | 29 |
| 8-6. 火災通報ボタン、自火報の断線検出機能 .....       | 30 |
| 8-7. 断線監視を行う場合の接続 .....             | 31 |
| 8-8. 火災通報ベル、消防確受ランプなどとの接続 .....     | 32 |
| 8-9. LAMP 出力・BELL 出力機能 .....        | 32 |

## 目 次

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| 9. 保守                          | 33 |
| 9-1. 動作試験                      | 33 |
| 9-2. 付属シールの貼付                  | 34 |
| 9-3. 予備電源の動作確認                 | 34 |
| 9-4. ヒューズの交換について               | 35 |
| 9-5. 火災通報ボタンのアクリルカバー交換について     | 35 |
| 9-6. 通報メッセージの試験方法（聴取）          | 36 |
| 9-7. 通報動作の試験方法                 | 36 |
| 9-8. 予備電源の試験方法                 | 36 |
| 9-9. F1+、F1-とF2+、F2-ルートの断線試験方法 | 37 |
| 9-10. ソフトウェアバージョンの確認方法         | 37 |
| 10. IP電話回線のご利用にあたっての注意事項       | 38 |
| 11. トラブルシューティング                | 39 |
| 12. 仕様                         | 41 |
| 12-1. 適用回線                     | 41 |
| 12-2. ダイヤル種別                   | 41 |
| 12-3. 通報先                      | 41 |
| 12-4. 入力                       | 42 |
| 12-5. 出力                       | 42 |
| 12-6. 電気的特性                    | 42 |
| 12-7. 火災通報装置の耐用年数              | 42 |
| 12-8. 寸法・重量                    | 42 |
| 12-9. 予備電源の耐用年数                | 42 |
| 13. データ設定表                     | 43 |



# 1

# はじめに

この取扱説明書は、火災通報装置 CAFJ002-R（以下「本装置」という）を火災時に正しく動作させるための工事・機能設定・試験等の手順、および注意事項について説明するものです。

皆様の生命・財産を火災から守るため、本取扱説明書に従い正しく使用してください。

# 2

# 概要

火災発生時に、自動火災報知設備（以下「自火報」という）の作動や火災通報ボタンを押すと、119 番（消防）へ自動的に“火災発生”を知らせるシステムです。

火災通報ボタンを押すだけで自動的に 119 番にダイヤルし、音声合成メッセージにより火災の発生、施設名、所在、名称などを連絡します。

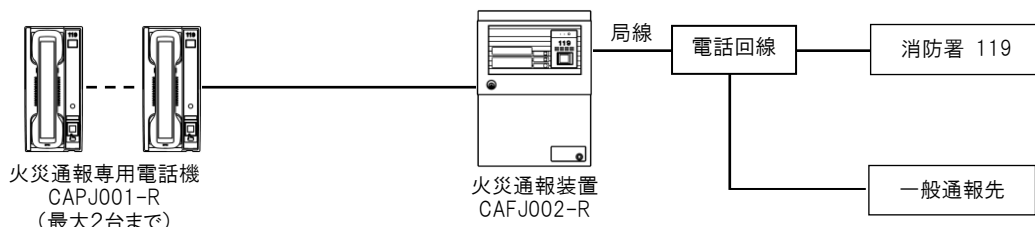
119 番（消防）が着信すると火災通報専用電話機により 119 番（消防）と火災の規模、負傷者の有無などの話もできます。

119 番への通報が終了すると、消火、避難活動の応援を求めるために、あらかじめ設定しておいた関係者宅へ自動的に同じ内容のメッセージを通報します。（最大 16 ヶ所の関係者に通報します。）本機は平成 28 年総務省令第 10 号「消防法施工規則の一部を改正する省令」及び平成 28 年消防庁告示第 6 号「火災通報装置の基準の一部を改正する件」に対応し、消防からの逆信（呼び返し）待ち受け時間を 10 秒とし、IP 電話回線で使用できる火災通報装置です。

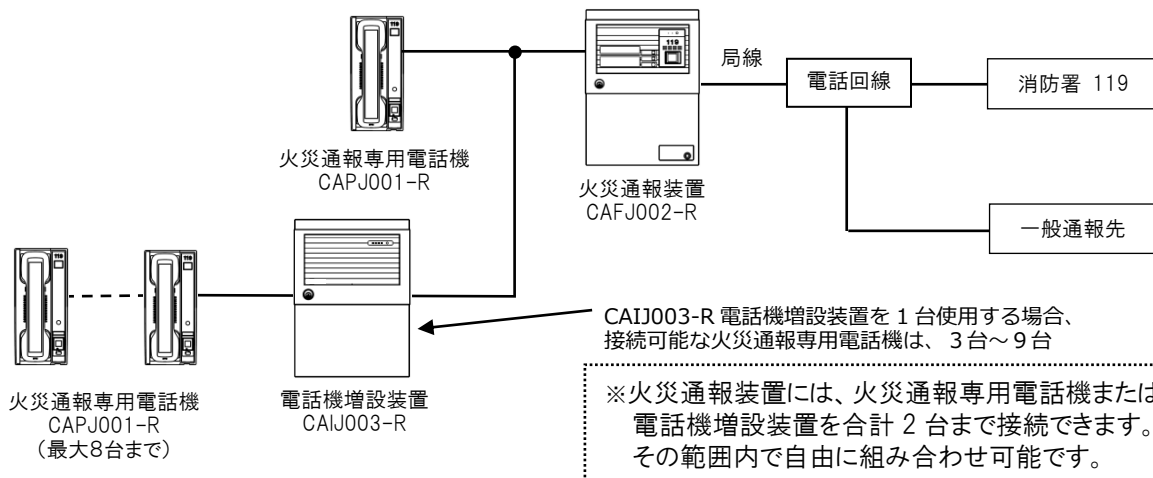
# 3

# システム構成

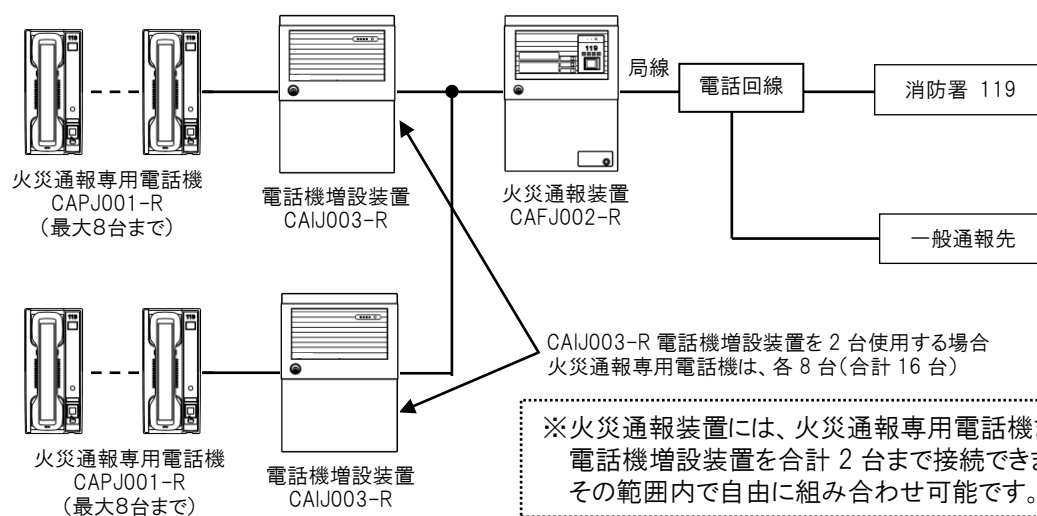
## （1）火災通報専用電話機を 1～2 台で使用する場合



## （2）火災通報専用電話機を 3～9 台で使用する場合



(3) 火災通報専用電話機を 10～16 台で使用の場合

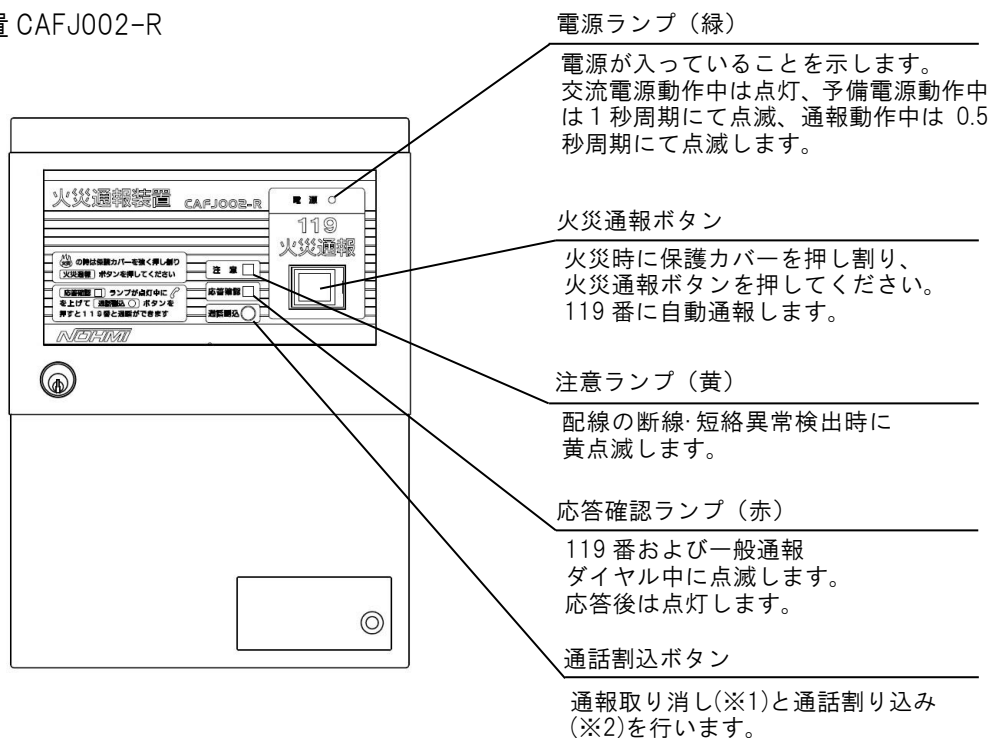


## 4

## 各部の名称

### 4-1. 各部の名称と機能

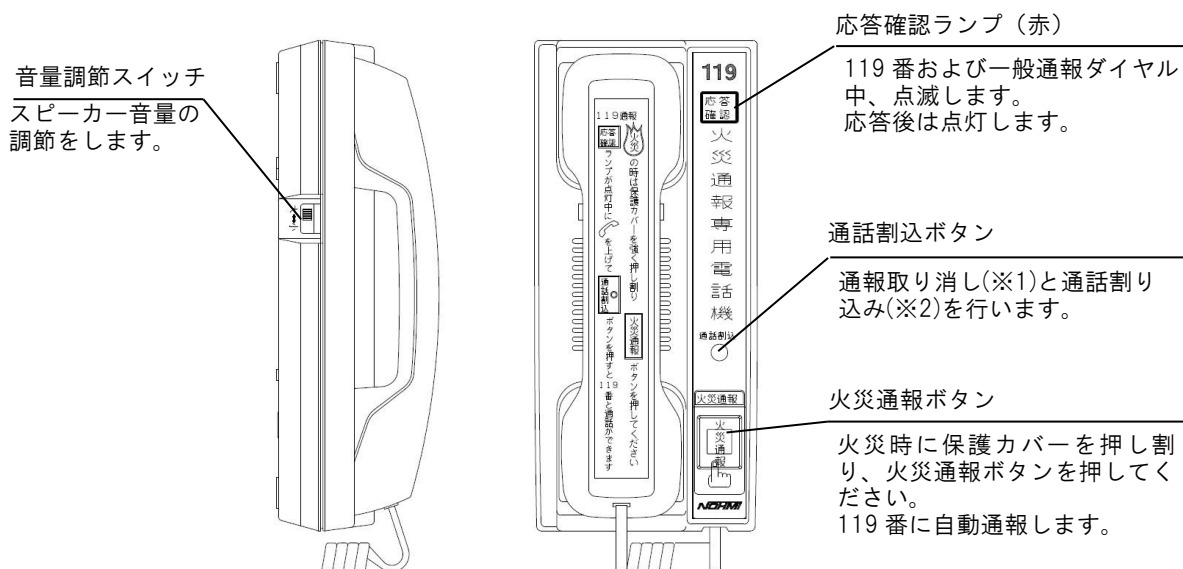
#### (1) 火災通報装置 CAFJ002-R



※1 通報取り消し：応答確認ランプが点滅中に受話器をかけたまま通話割込ボタンを押すと通報を取り消すことができます。

※2 通話割り込み：119 番が応答後、受話器を外し、通話割込ボタンを押すと 119 番と直接話ができます。

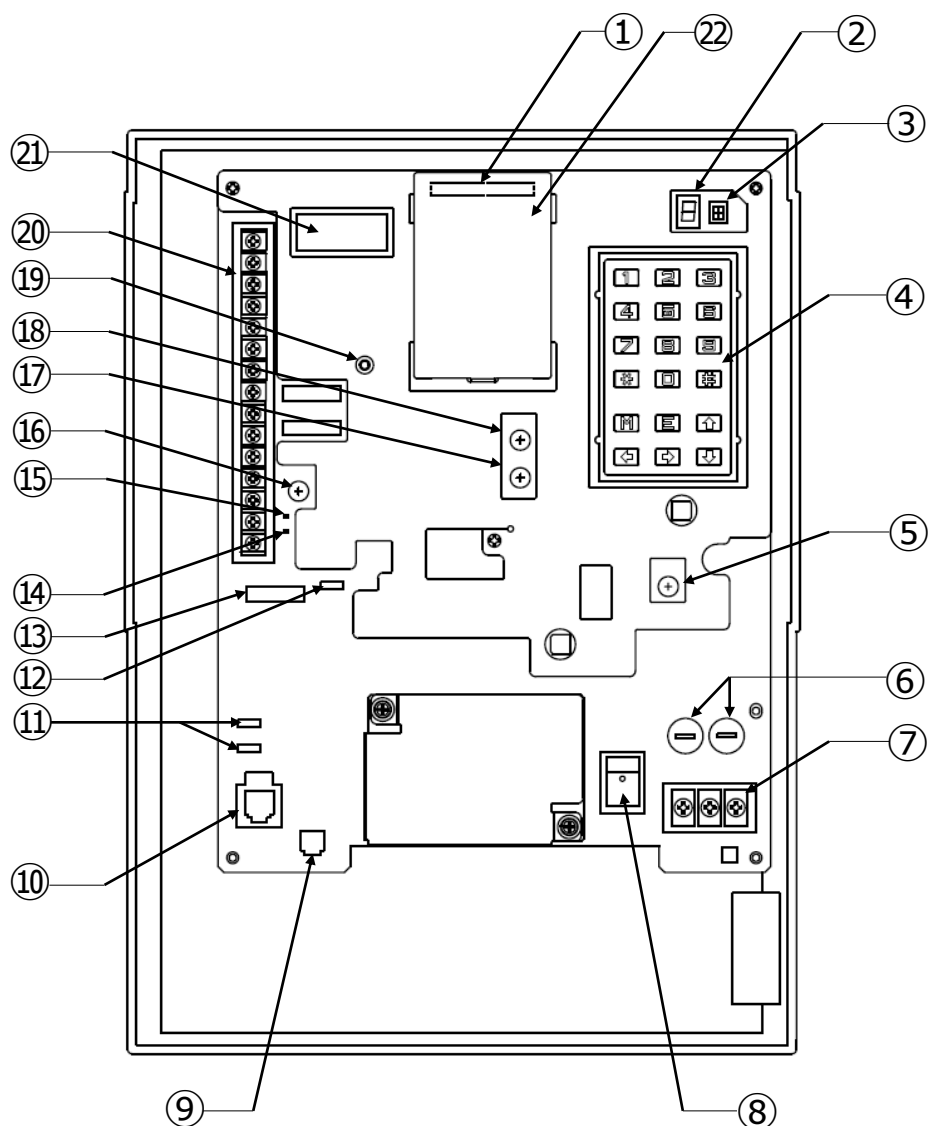
#### (2) 火災通報専用電話機 CAPJ001-R



※1 通報取り消し：応答確認ランプが点滅中に受話器をかけたまま通話割込ボタンを押すと通報を取り消すことができます。

※2 通話割り込み：119 番が応答後、受話器を外し、通話割込ボタンを押すと 119 番と直接話ができます。

## 4-2. 火災通報装置内部の各部名称



| 番号 | 名称                                                    | はたらき                                                 |
|----|-------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 1  | 音声 ROM パック用コネクタ (CN6)                                 | 音声 ROM パックを挿入します。                                    |
| 2  | 登録・確認用 7 セグメント LED (LD1)                              | 登録内容等を表示します。                                         |
| 3  | 設定用ディップスイッチ (SW1)                                     | 通報テスト時使用します。                                         |
| 4  | 登録・確認用テンキー                                            | ご使用前に設定必要事項を登録してください。<br>(登録内容と方法は P.22 「設定及び登録」を参照) |
| 5  | モニター音量調整用ボリューム (RV1)                                  | モニター時の本体内蔵のスピーカー音量を調整します。<br>右に廻すと音量が大きくなります。        |
| 6  | AC100V 電源ヒューズ (F1(左)、F2(右))<br>【日本製線：FSL 250V 1A 相当品】 | AC100V 電源用ヒューズです。<br>電源ランプが点灯しないときは確認してください。         |
| 7  | AC100V 電源入力端子台 (TB2)                                  | AC100V 電源を接続してください。                                  |
| 8  | 電源スイッチ (SW3)                                          | AC100V 電源の「入」「切」を行います。                               |
| 9  | 予備電源用コネクタ (CN5)                                       | 予備電源のコネクタを挿入します。                                     |

| 番号 | 名称                                           | はたらき                                                                                                                          |
|----|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10 | 露出タイプローゼット用モジュラコネクタ (CN1)                    | 露出タイプローゼット（電話回線）を接続します。                                                                                                       |
| 11 | 逆信時の電話機ベル鳴動ジャンパ (JP2 (上)、JP3 (下))            | 逆信時の電話機のベル鳴動を設定します。<br>ON 側→火災通報専用電話機・一般電話機の両方が鳴ります。<br>OFF 側→火災通報専用電話機のみ鳴ります。<br>（2つのジャンパーは必ず同一の設定とします。）<br>（初期設定は OFF 側です。） |
| 12 | 火災専用電話機使用ジャンパー (JP5)                         | ON 側→火災通報専用電話機を使用しない場合<br>（一般電話機で逆信を受ける時）<br>OFF 側→火災通報専用電話機を使用する場合<br>（初期設定は OFF 側です）                                        |
| 13 | 外部電源出力用ヒューズ (F3)<br>【日本製線：FBR 250V 0.5A 相当品】 | 外部電源用のヒューズです。<br>+12V 電源が出力されないとき確認してください。                                                                                    |
| 14 | 短絡用ランプ (LD5)                                 | F1+、F1-/F2+、F2-の配線が短絡した場合に点滅します。<br>点滅の際には、配線の確認をしてください。<br>（8-4. 火災通報ボタン、自火報の短絡検出機能 参照）                                      |
| 15 | 断線用ランプ (LD6)                                 | F1+、F1-/F2+、F2-の配線が断線した場合に点滅します。<br>点滅の際には、配線の確認をしてください。<br>（8-6. 火災通報ボタン、自火報の断線検出機能 参照）                                      |
| 16 | CAPJ001-R 音量調整用ボリューム (RV2)                   | 火災通報専用電話機のスピーカー音量を調整します。<br>右に廻すと音量が大きくなります。                                                                                  |
| 17 | 固定フレーズ音量調整用ボリューム (RV4)                       | 通報メッセージの固定フレーズ部の音量を調整します。<br>右に廻すと音量が大きくなります。                                                                                 |
| 18 | 不定フレーズ音量調整用ボリューム (RV3)                       | 通報メッセージの不定フレーズ部の音量を調整します。<br>右に廻すと音量が大きくなります。                                                                                 |
| 19 | リセット (SW2)                                   | 通常監視状態に復旧する場合に復旧スイッチとして使用します。                                                                                                 |
| 20 | 端子台 (TB1)                                    | 外部機器との接続用端子台です。                                                                                                               |
| 21 | Dsub9 ピンコネクタ (CN11)                          | 未使用（メーカー保守用）                                                                                                                  |
| 22 | 音声 ROM パック RP-5 (※ 1)                        | 通報メッセージが記憶されます。                                                                                                               |

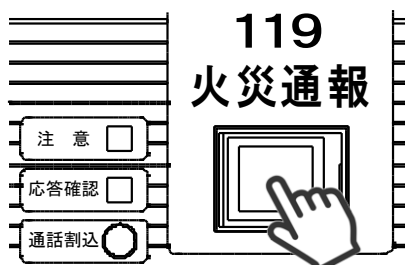
（※ 1）旧機種 CAFJ001-R で使用していた音声 ROM パック「EPC-IV」は互換性があるため使用可能です。

## 5-1. 火災発生時の操作手順

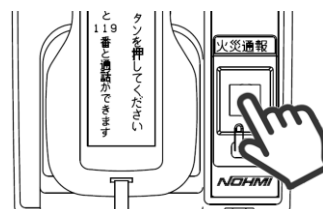
## (1) 火災通報ボタンを強く押します。(保護カバーを押し割ります)

火災通報装置の前面パネルにある火災通報ボタンまたは火災通報専用電話機の火災通報ボタンのどちらを押しても作動します。

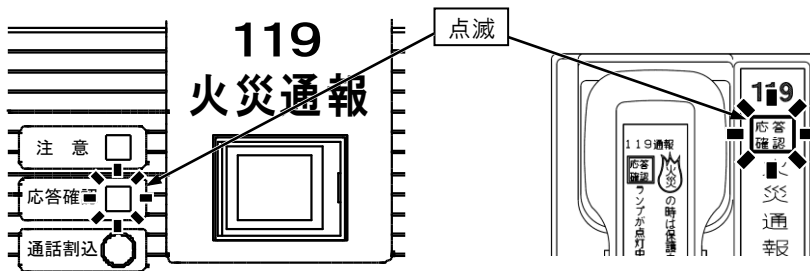
【火災通報装置】



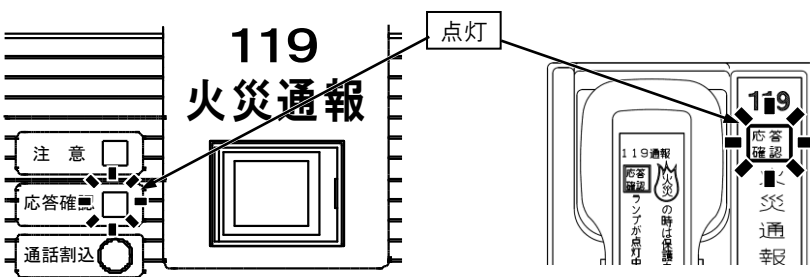
【火災通報専用電話機】



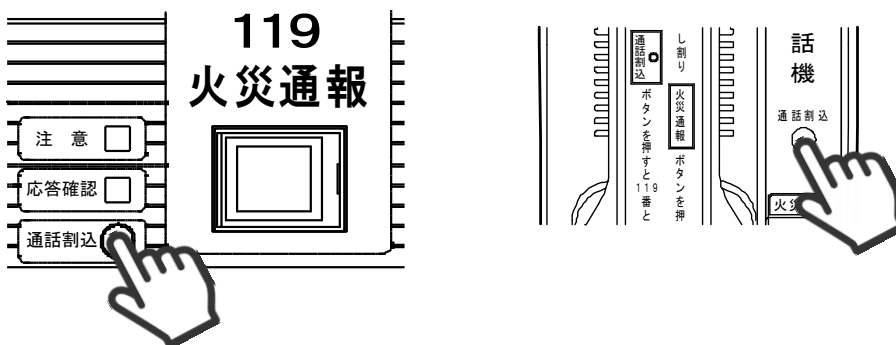
火災通報ボタンが押され火災通報装置が起動すると 119 番にダイヤルを行い **応答確認** ランプが**点滅**します。(点滅中、119 番はまだ応答していません。)

(2) **応答確認** ランプが**点灯**している時は、119 番に音声メッセージを送出しています。

登録されている音声メッセージが、火災通報装置および火災通報専用電話機のスピーカーから流れます。



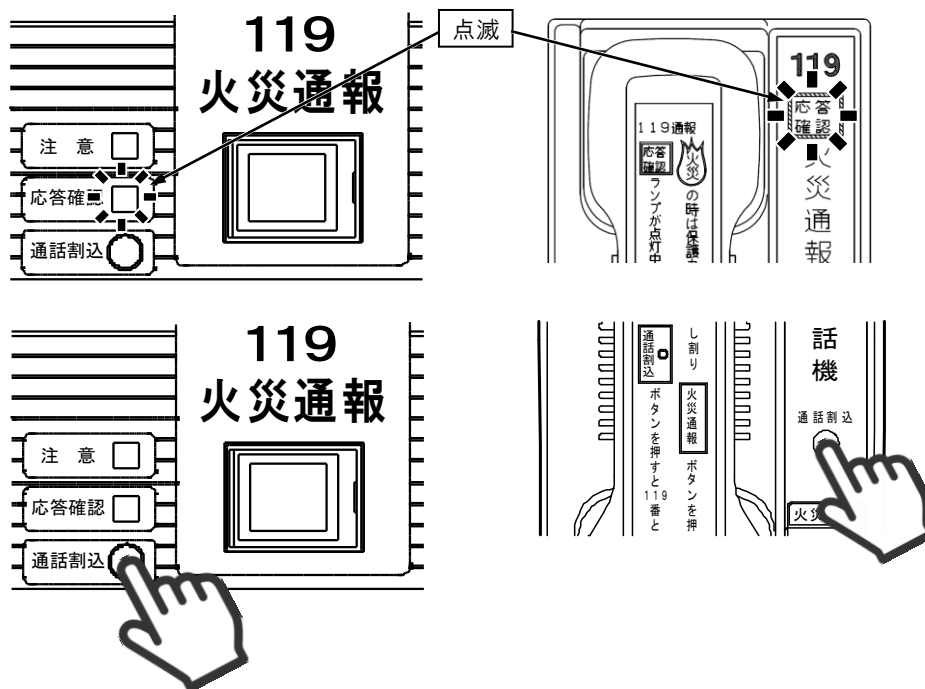
火災通報専用電話機の受話器を外し、**通話割込** ボタンを押すと 119 番と直接通話ができます。(火災の規模、負傷者の有無)



- ↓
- (3) 火災通報装置または火災通報専用電話機から呼出音が連続して鳴り出したら、受話器を上げることにより、119 番と直接通話ができます。  
[119 番からの逆信（呼び返し）]
- ↓
- (4) 火災通報専用電話機と 119 番（消防側）の電話機を切ると 119 番通報が終了します。119 番通報終了後、一般通報先があらかじめ設定してある場合には一般通報先（最大 16 カ所）へ自動通報します。  
（3）で受話器を上げなかった場合、119 番（消防側）で電話機を切ると 119 番通報が終了し、一般通報先（最大 16 カ所）へ自動通報します。
- ↓
- (5) 全ての通報動作終了後、火災通報装置は自動的に復旧します。

## 5-2. 誤って火災通報ボタンを押してしまった場合の操作手順

**応答確認**ランプが**点滅**している時（119 番呼出中）に“通話割込”ボタンを押すと、**応答確認**ランプが消えて全ての動作が終了します。ただし、設定により 119 の取消しができない場合があります。（7-3 設定項目コード 39 参照）



**応答確認**ランプが**点灯**している場合は通報の取消ができませんので、119 番との通話時に誤った通報であることを申告してください。

注）通報動作中、本装置に接続された一般電話機はご使用になれません。

## 6-1. 機器の接続について

### (1) 機器接続

- ① 火災通報装置 (CAFJ002-R) には火災通報専用電話機 (CAPJ001-R) または電話機増設装置 (CAIJ003-R) を合計 2 台まで接続可能です。
- ② 電話機増設装置 (CAIJ003-R) には火災通報専用電話機 (CAPJ001-R) を最大 8 台まで接続可能です。
- ③ 火災通報装置 (CAFJ002-R) に電話機増設装置 (CAIJ003-R) を 2 台接続する事で、火災通報専用電話機 (CAPJ001-R) を最大 16 台まで接続可能です。

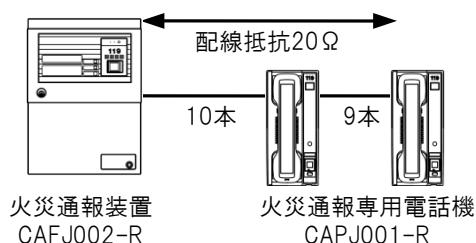
### (2) 配線に用いる電線

HP0.9 または HP1.2 相当の耐熱電線を使用してください。

## 6-2. 接続機器の外部配線抵抗

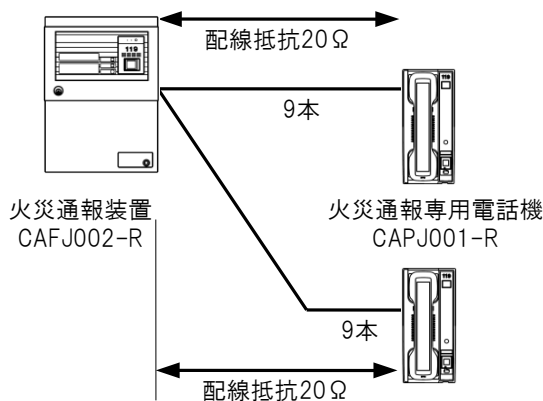
### (1) 火災通報専用電話機を 2 台まで接続する場合

例 1. 火災通報専用電話機を 2 台送り配線



火災通報装置から最遠端の火災通報専用電話機までの配線抵抗は 20Ω 以下。  
スピーカー用 (S P) 配線は火災通報専用電話機毎に設ける。

例 2. 火災通報専用電話機を 2 台分岐配線



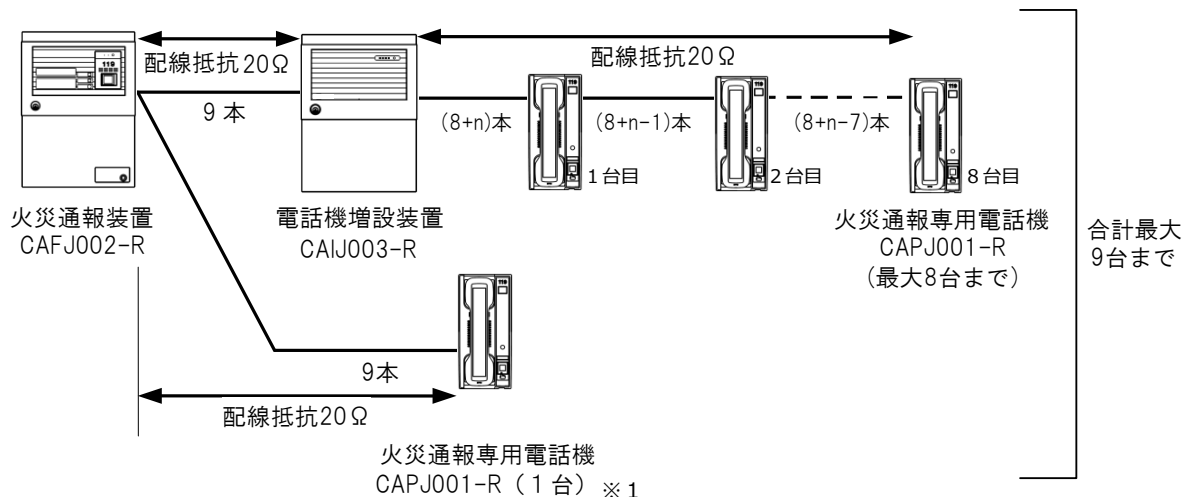
火災通報装置から各々の火災通報専用電話機までの配線抵抗は 20Ω 以下。  
スピーカー用 (S P) 配線は火災通報専用電話機毎に設ける。



(2) 火災通報専用電話機を3台～9台接続する場合

(nはCAIJ003-Rに接続するCAPJ001-Rの台数により変わります。)

例.電話機増設装置(CAIJ003-R)1台使用し、火災通報専用電話機 (CAPJ001-R) を9台まで接続

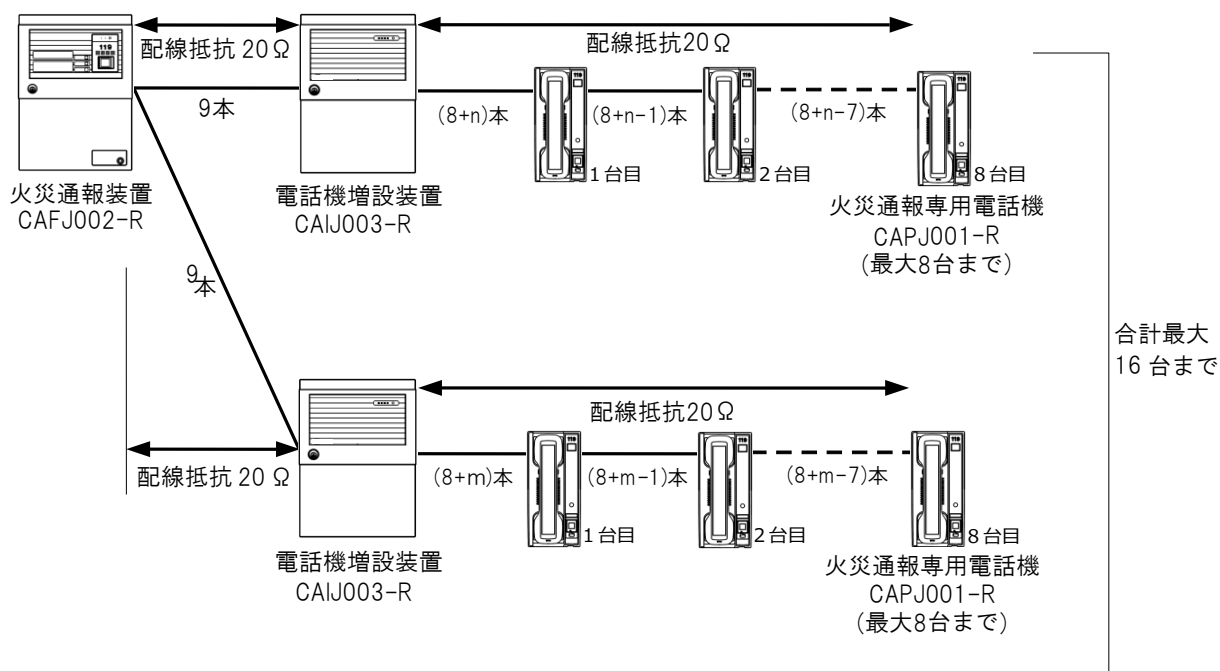


- ・火災通報装置と電話機増設装置までの配線抵抗は20Ω以下。
  - ・電話機増設装置から最遠端の火災通報専用電話機までの配線抵抗は20Ω以下。
  - ・スピーカー用(S P)配線は火災通報専用電話機、電話機増設装置毎に設ける。
  - ・火災通報専用電話機を電話機増設装置から分岐配線で接続する場合、最遠端までの配線抵抗は20Ω以下。※1のように分岐配線で火災通報専用電話機1台を接続する場合、配線抵抗は20Ω以下。
  - ・火災通報装置に直接接続されている火災通報専用電話機のスピーカー音量は火災通報装置のボリューム (RV2)で調整する。
  - ・電話機増設装置の#1SP～#8SP 端子 (スピーカー用) に接続されている火災通報専用電話機のスピーカー音量はボリューム(RV3)で調整する。
- また、火災通報専用電話機の音量調整スイッチで個々の設定も可能。接続されている最近端の火災通報専用電話機のスピーカー音量が音割れしないように注意すること。

(3) 火災通報専用電話機を10～16台接続する場合

(n,mはCAIJ003-Rに接続するCAPJ001-Rの台数により変わります。)

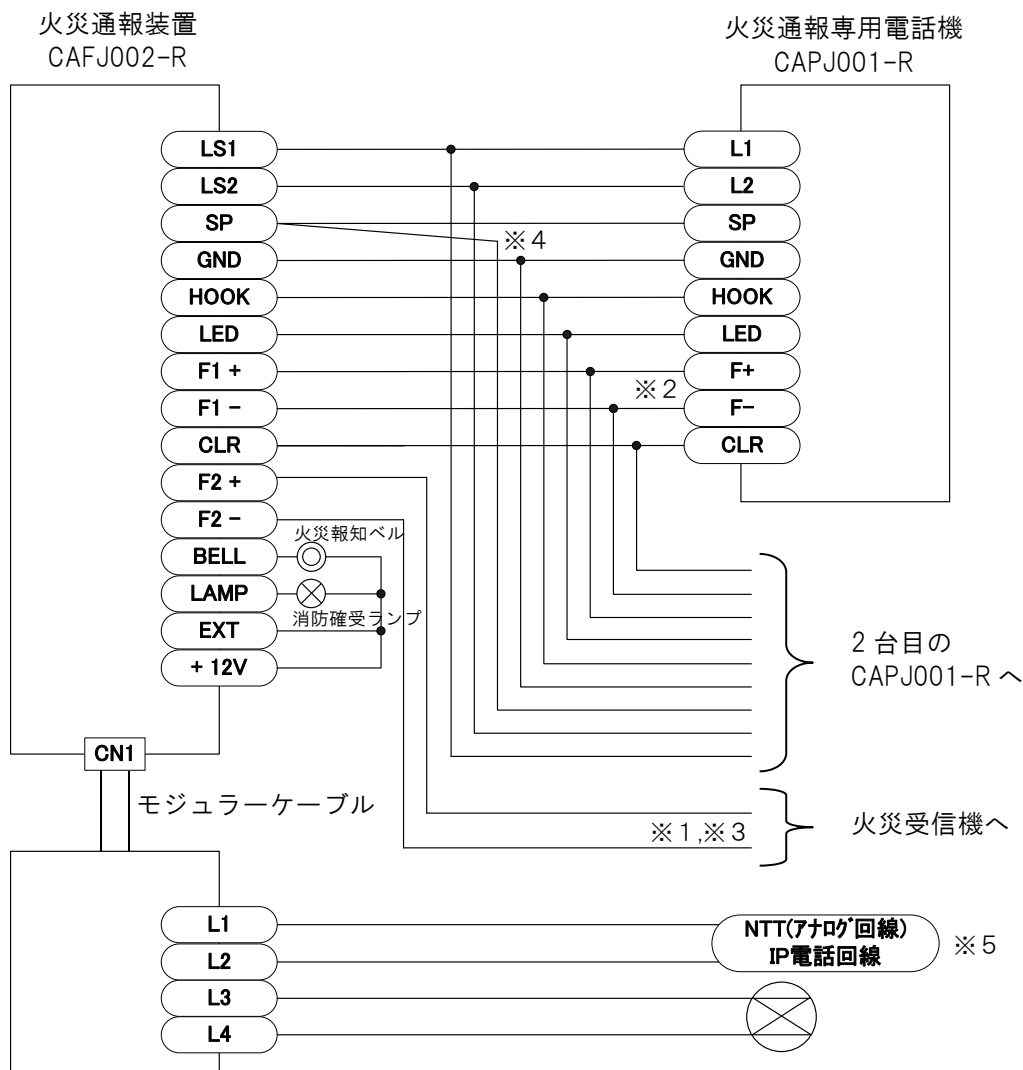
例. 電話機増設装置(CAIJ002-R)2台使用し、火災通報専用電話機 (CAPJ001-R) を16台まで接続



- ・ 火災通報装置と電話機増設装置までの配線抵抗は 20Ω 以下。
  - ・ 電話機増設装置から最遠端の火災通報専用電話機までの配線抵抗は 20Ω 以下。
  - ・ スピーカー用(S P)配線は火災通報専用電話機、電話機増設装置毎に設ける。
  - ・ 火災通報専用電話機を電話機増設装置から分岐配線で接続する場合、最遠端までの配線抵抗は 20Ω 以下。※1 のように分岐配線で火災通報専用電話機 1 台を接続する場合、配線抵抗は 20Ω 以下。
  - ・ 電話機増設装置の#1SP～#8SP 端子 (スピーカー用) に接続されている火災通報専用電話機のスピーカー音量はボリューム(RV3)で調整する。
- また、火災通報専用電話機の音量調整スイッチで個々の設定も可能。接続されている最近端の火災通報専用電話機のスピーカー音量が音割れしないように注意すること。

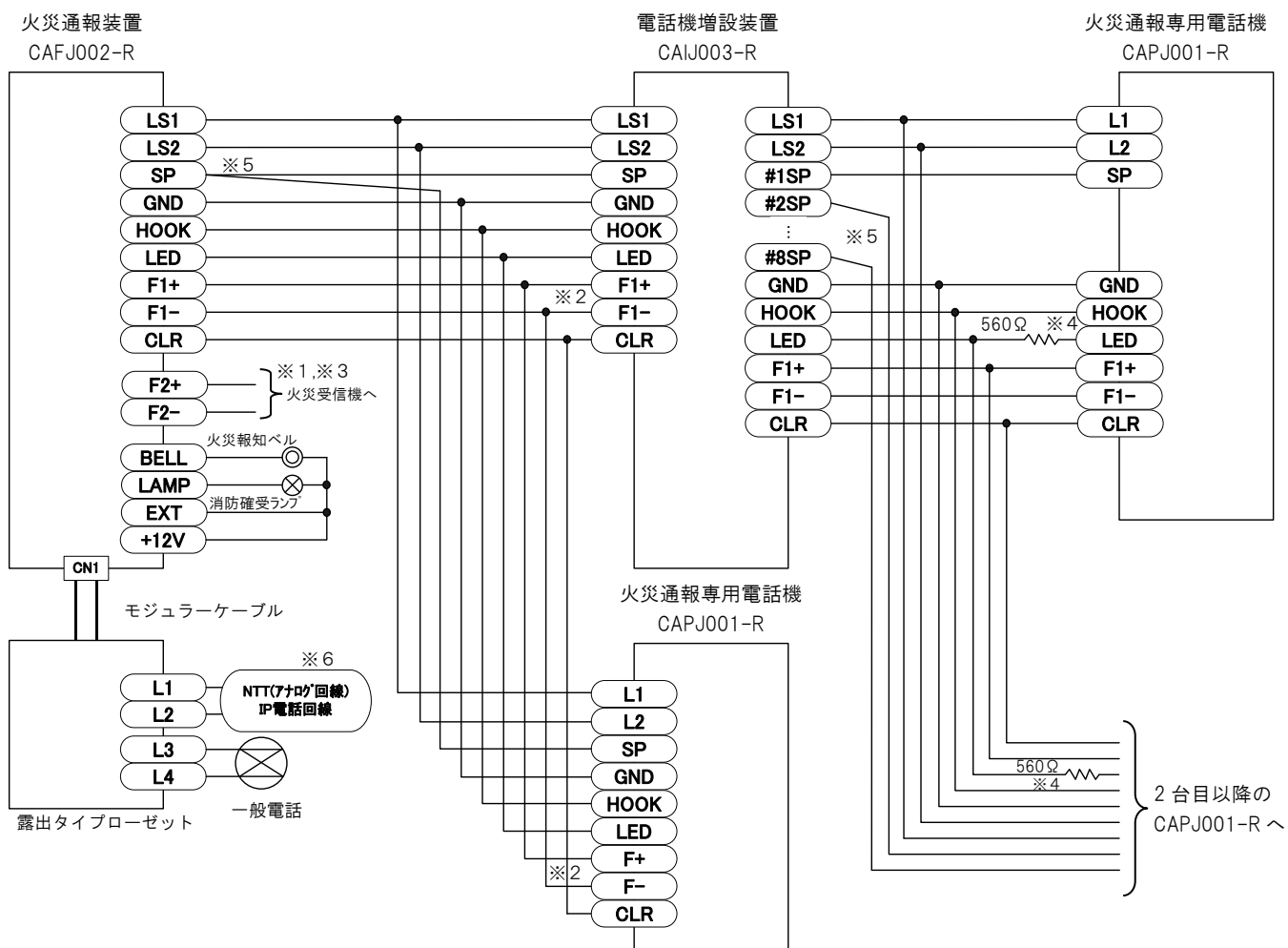
## 6-3. 接続図

### (1) 火災通報専用電話機 1～2 台接続時



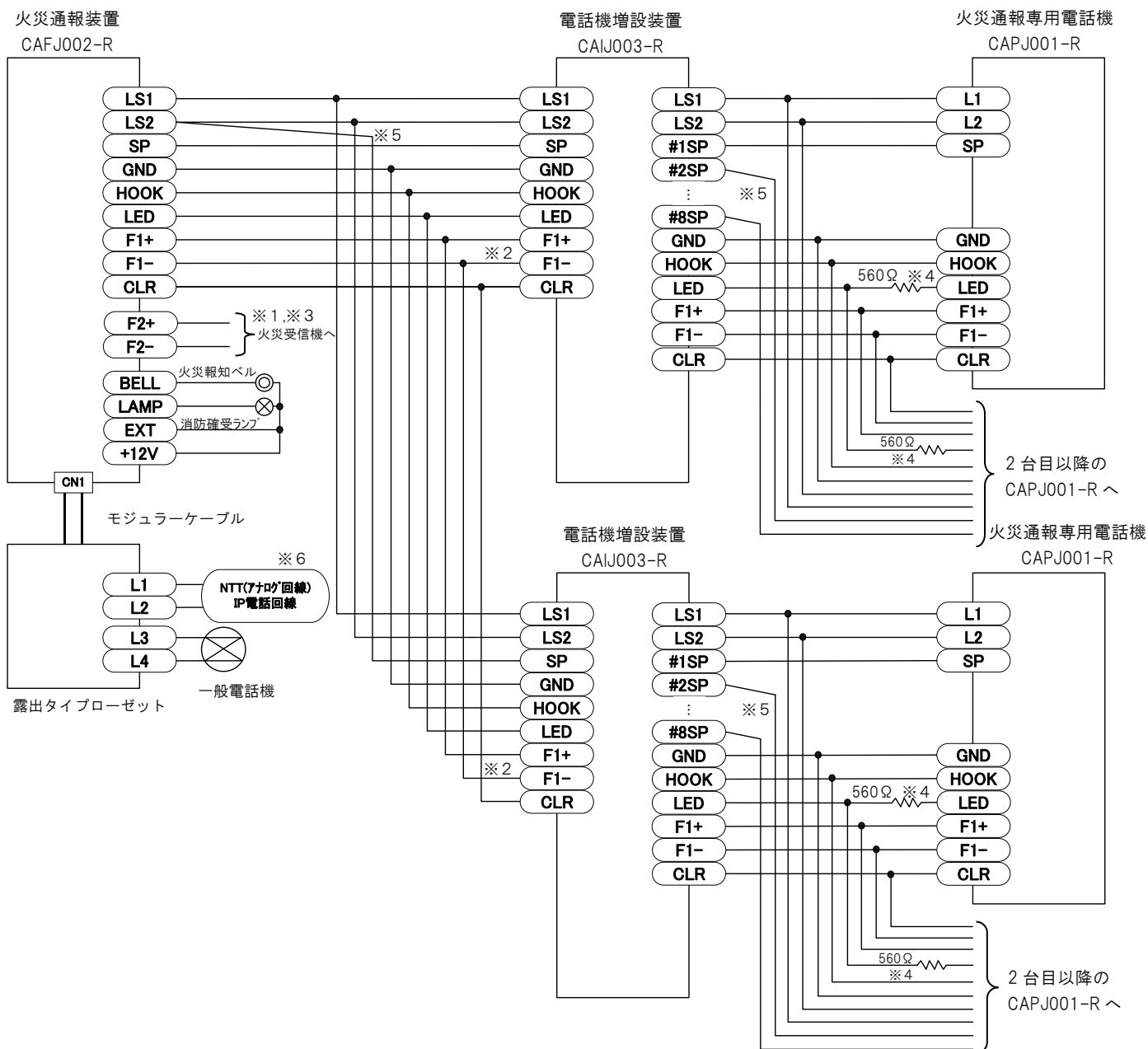
- ※1 F1+,F1-と F2+,F2-の短絡監視を「あり」に設定した場合、F2+,F2-に付属のダイオードを入れてください。  
P.29 参照（初期設定は「なし」）
- ※2 F1+,F1-の断線監視を「あり」に設定した場合、F1+,F1-の配線は送り配線にし、末端に付属のダイオードおよび抵抗(33kΩ)を入れてください。P.31 参照（初期設定は「なし」）
- ※3 F2+,F2-の断線監視を「あり」に設定した場合、付属のダイオードおよび抵抗(33kΩ)を入れてください。  
P.31 参照（初期設定は「なし」）
- ※4 火災通報専用電話機 1 台につき、SP 線（スピーカー用）が一本必要です。
- ※5 IP 電話回線の接続方法は P.38 を参照ください。

(2) 火災通報専用電話機 3～9 台接続時



- ※1 F1+F1-とF2+F2-の短絡監視を「あり」に設定した場合、F2+F2-に付属のダイオードを入れてください。  
P.29 参照 (初期設定は「なし」)
- ※2 F1+F1-の断線監視を「あり」に設定した場合、F1+F1-の配線は送り配線にし、末端に付属のダイオードおよび抵抗(33kΩ)を入れてください。なお、増設装置から先のF1+F1-は断線監視できません。  
P.31 参照 (初期設定は「なし」)
- ※3 F2+F2-の断線監視を「あり」に設定した場合、付属のダイオードおよび抵抗(33kΩ)を入れてください。  
P.31 参照 (初期設定は「なし」)
- ※4 電話機増設装置に接続された火災通報専用電話機のLED端子には電話機増設装置付属の抵抗(560Ω)を入れてください。
- ※5 火災通報専用電話機1台につき、SP線(スピーカー用)が一本必要です。
- ※6 IP電話回線の接続方法はP.38を参照ください。

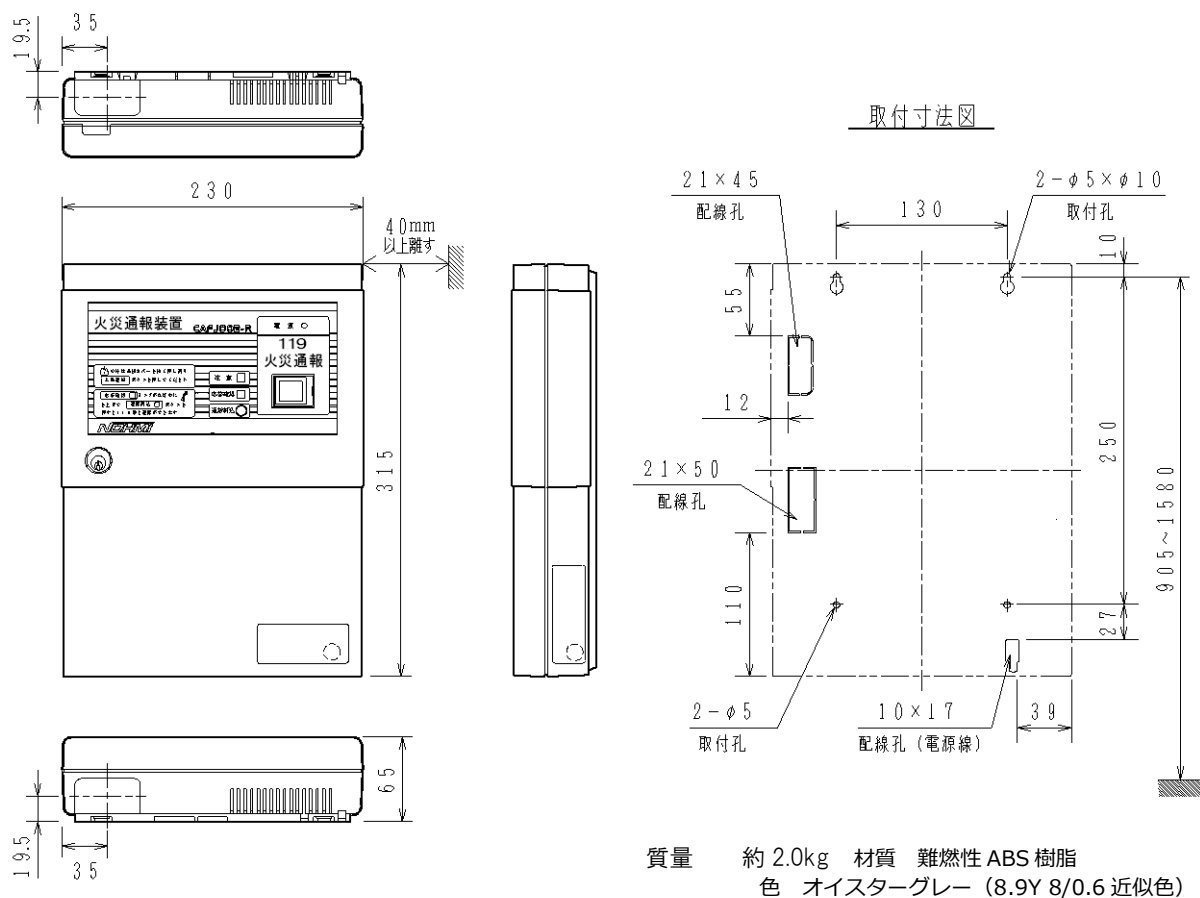
(3) 火災通報専用電話機 10～16 台接続時



- ※1 F1+,F1-とF2+,F2-の短絡監視を「あり」に設定した場合、F2+,F2-に付属のダイオードを入れてください。  
P.29 参照（初期設定は「なし」）
- ※2 F1+,F1-の断線監視を「あり」に設定した場合、F1+,F1-の配線は送り配線にし、末端に付属のダイオードおよび抵抗(33kΩ)を入れてください。なお、増設装置から先のF1+,F1-は断線監視できません。  
P.31 参照（初期設定は「なし」）
- ※3 F2+,F2-の断線監視を「あり」に設定した場合、付属のダイオードおよび抵抗(33kΩ)を入れてください。  
P.31 参照（初期設定は「なし」）
- ※4 電話機増設装置に接続された火災通報専用電話機のLED端子には電話機増設装置付属の抵抗(560Ω)を入れてください。
- ※5 火災通報専用電話機1台につき、SP線（スピーカー用）が一本必要です。
- ※6 IP電話回線の接続方法はP.38を参照ください。

## 6－4. 火災通報装置 CAFJ002-R

### (1) 外観・外形寸法図 (単位: mm)



### (2) 取付方法

- ・ アンカーボルト (M4) または同等品にて壁面に取り付けてください。
- ・ 壁面強度が弱い場合は補強材を使用してください。
- ・ 壁面に凹凸がある場合はスペーサー等を使用して平行に取り付けてください。
- ・ 本体扉の開閉のために右側に 40mm 以上のスペースを確保し取り付けを行ってください。
- ・ 露出配線の場合は、本装置の上部と下部にある、膜付グロメットを使用してください。

(3) 付属品

|                                            |     |
|--------------------------------------------|-----|
| ① 予備電源 (FDK 製 : FML1208 相当品、12V0.8Ah 鉛蓄電池) | 1 個 |
| ② 電源コード                                    | 1 本 |
| ③ 鍵 (T-106)                                | 2 本 |
| ④ ヒューズ 0.5A (日本製線 : FBR 250V 0.5A 相当品)     | 1 本 |
| ⑤ ヒューズ 1.0A (日本製線 : FSL 250V 1A 相当品)       | 2 本 |
| ⑥ モジュラーケーブル (6P 200mm)                     | 1 本 |
| ⑦ 露出タイプローゼット                               | 1 個 |
| ⑧ 取扱説明書                                    | 1 部 |
| ⑨ 火災通報装置本体用保護カバー                           | 2 個 |
| ⑩ 火災通報専用電話機用保護カバー                          | 2 個 |
| ⑪ ダイオード (シリコンダイオード 250V、1A 相当品)            | 4 本 |
| ⑫ 終端用抵抗 (33k $\Omega$ 、1/4W)               | 2 本 |
| ⑬ 停電用電池交換注意シール                             | 1 枚 |
| ⑭ 故障時連絡先シール                                | 1 枚 |

注) 音声ロムパックは付属しておりません。別途依頼してください。

#### (4) 端子配列図

##### ① LS1、LS2（通話用配線）

火災通報専用電話機 CAPJ001-R の L1、L2 端子に接続します。

##### ② SP、GND（モニタースピーカー）

火災通報専用電話機 CAPJ001-R の SP、GND 端子に接続します。

##### ③ HOOK（電話機のフック）

火災通報専用電話機 CAPJ001-R の HOOK 端子に接続します。

##### ④ LED（応答用確認ランプ）

火災通報専用電話機 CAPJ001-R の LED 端子に接続します。

##### ⑤ F1+、F1-

火災通報専用電話機 CAPJ001-R の F+・F- に接続します。

##### ⑥ CLR（通話割込）

火災通報専用電話機 CAPJ001-R の CLR 端子に接続します。

##### ⑦ F2+、F2-

自火報の移報出力（a 接点）に接続します。

##### ⑧ BELL

火災報知ベル用の出力です。

（12V 有電圧出力）

##### ⑨ LAMP

消防確受ランプ用の出力です。

（12V 有電圧出力）

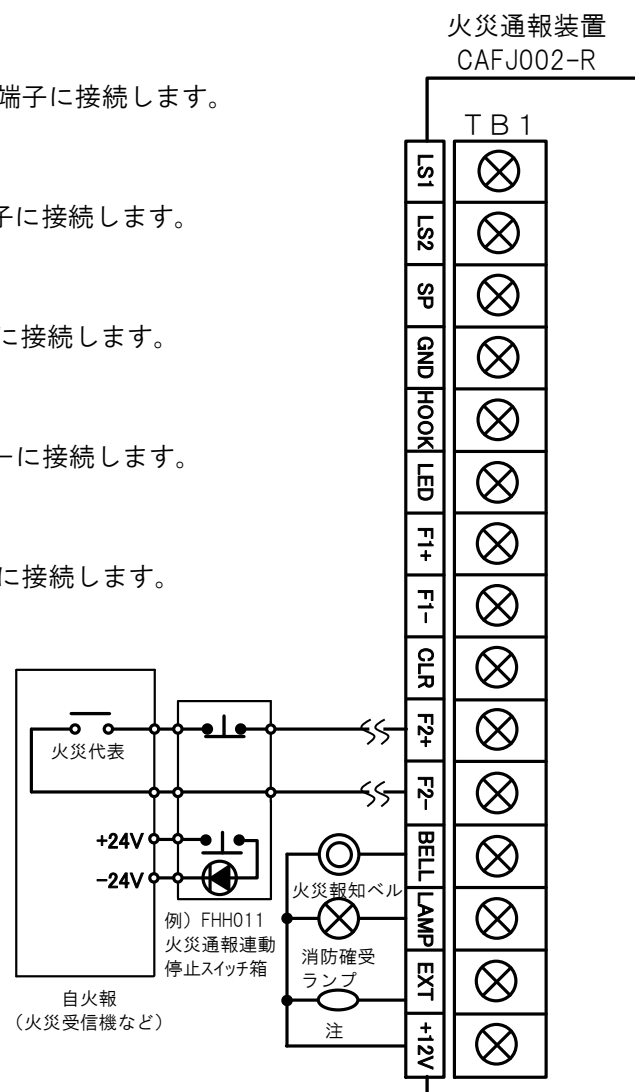
##### ⑩ EXT

F1+ F1-/F2+ F2-線が短絡・断線したときの出力です。

（12V 有電圧出力）

##### ⑪ +12V

外部出力用です。（DC12V，300mA 以下）



注．ブザー等が接続できます。

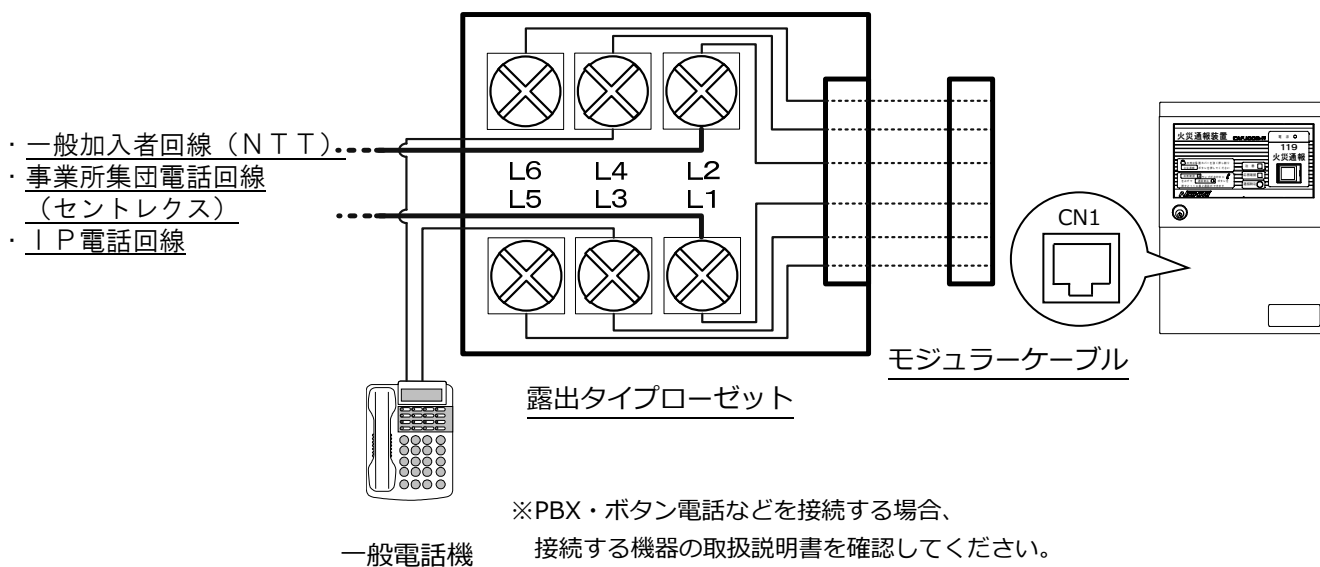


## (5) 電話回線および電話機との接続

火災通報装置は一般加入者回線・事業所集団電話回線（セントレックス）・IP 電話回線に接続できます。露出タイプローゼット（付属品）を以下のように配線してください。

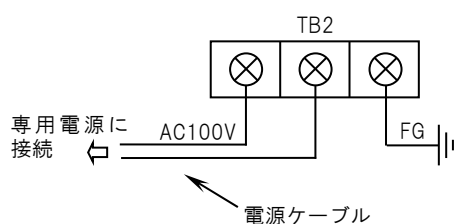
外線は火災通報装置内収納ローゼットの L 1, L 2 端子に接続してください。

一般電話機は火災通報装置内収納ローゼットの L 3, L 4 端子に接続してください。



|    |                                                  |
|----|--------------------------------------------------|
| 注意 | 公衆回線に接続する端末設備の接続工事を行うには、電気通信設備工事担任者の資格が必要です。     |
| 注意 | L 3, L 4 に PBX・ボタン電話等を接続する場合は、極性がありますので注意してください。 |

## (6) 電源の接続



- ・AC100Vは専用電源より配線してください。
- ・接地用端子FGの対地アースはD種とし、接地抵抗値は100Ω以下としてください。
- ・単独アースで接地をお願いします。

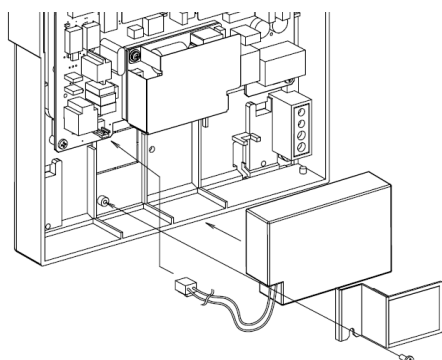
注意 本装置のAC電源および電池は、責任者以外ふれないでください。火災・感電・故障の原因となります。

## (7) 電源投入の方法

電源の接続後、盤内にあるAC電源スイッチ（SW3）を電源投入側に倒してください。

## (8) 予備電源の接続

停電時の動作を保証するため設置工事完了時に予備電源を接続してください。

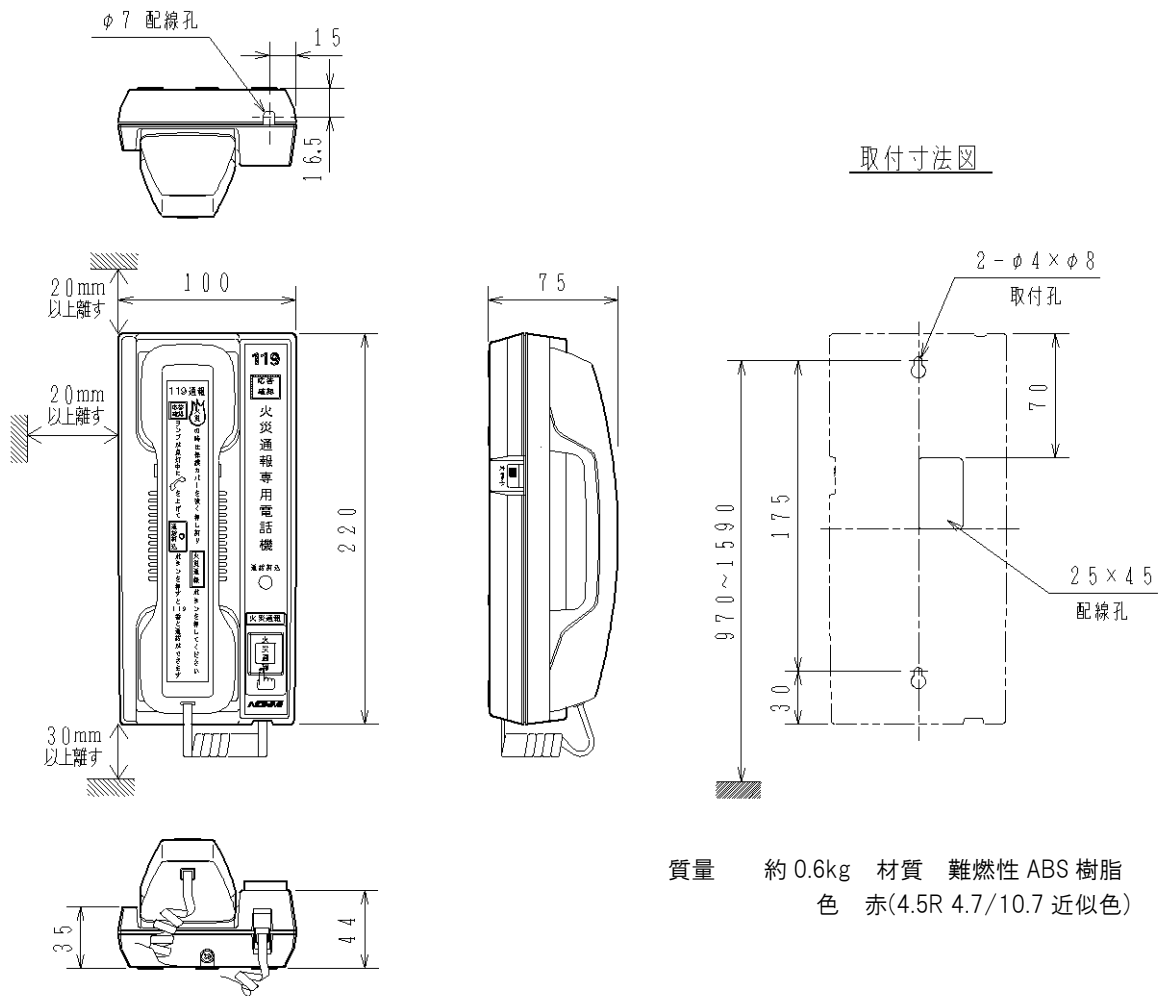


注意 予備電源は、火災通報装置内に取り扱い注意ラベルを手前に搭載してください。

注意 予備電源の耐用年数は約3年です。耐用年数を経過する前に新品の予備電源と交換してください。

## 6－5．火災通報専用電話機 CAPJ001-R

### (1) 取付寸法 (単位：mm)



### (2) 取付方法

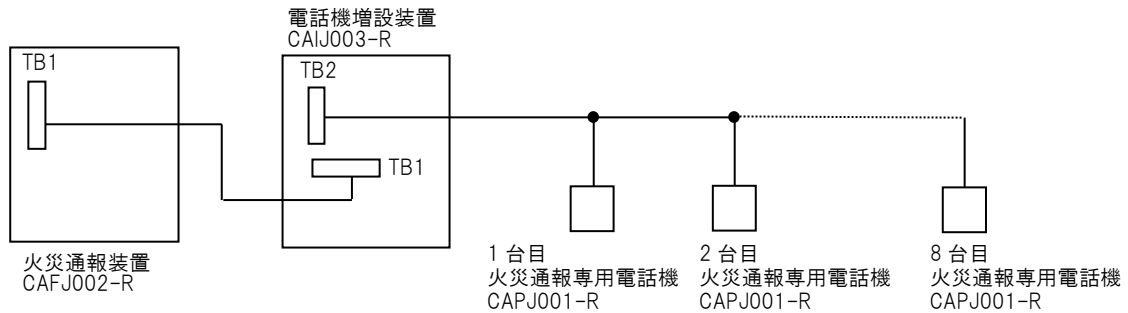
- ・ アンカーボルト (M3) または同等品にて壁面に取り付けてください。
- ・ 壁面強度が弱い場合は補強材を使用してください。
- ・ 壁面に凹凸がある場合はスペーサー等を使用して平行に取り付けてください。
- ・ 受話器を取りやすくするために、上側に 20mm、下側に 30mm、左側に 20mm 以上のスペースを確保し取り付けを行ってください。
- ・ 露出配線の場合は、本装置の上部にある、配線孔を使用してください。

## 6－6．電話機増設装置 CAIJ003-R

### (1) 概要

CAIJ003-R 電話機増設装置は火災通報専用電話機を増設する場合に使用します。  
本増設装置 1 台で火災通報専用電話機を最大 8 台まで接続できます。

### (2) システム構成例



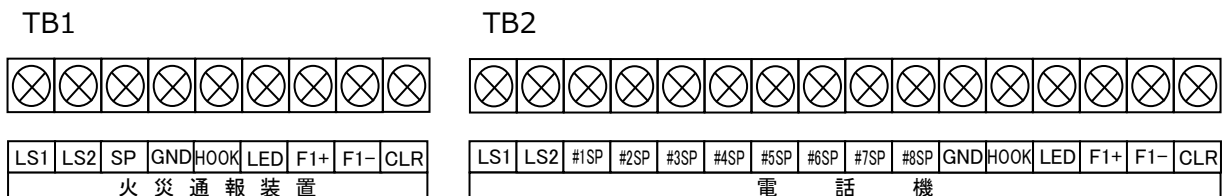
### (3) 仕様

- ① 入力.....1 チャンネル
- ② 出力.....8 チャンネル
- ③ スピーカー出力.....約 200mW
- ④ 使用電源.....AC100V±10% (50/60Hz)
- ⑤ 消費電力.....動作時 15VA 以下 (最大 8 台接続時)
- ⑥ 外形寸法・重量.....315 (H) × 230 (W) × 65 (D) mm  
約 1.6kg (予備電源含む)

### (4) 付属品

- ① 抵抗 (560Ω、1/2W) .....8 本
- ② 鍵 (T-106) .....2 本
- ③ ヒューズ (日本製線：FBR 250V 0.5A 相当品) .....1 本
- ④ ヒューズ (日本製線：FSL 250V 1A 相当品) .....2 本
- ⑤ 電源コード.....1 本
- ⑥ 予備電源  
(FDK 製：FML1208 相当品、12V0.8Ah 鉛蓄電池) 1 個
- ⑦ 取扱説明書.....1 部

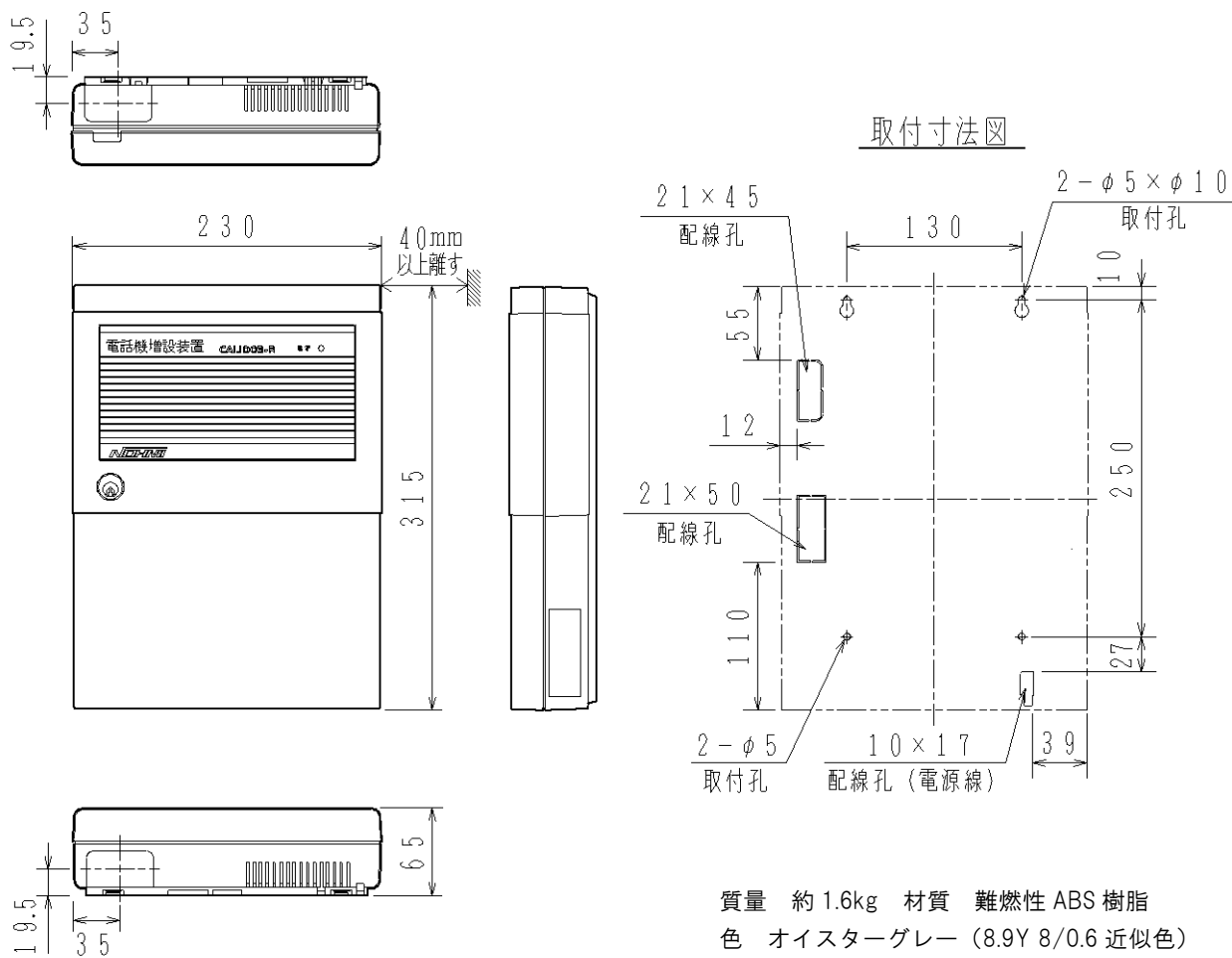
### (5) 端子配列図



### (6) 火災通報専用電話機スピーカー音量の調整

電話機増設装置の基板上のボリュームを右に廻すと電話機のスピーカー音量が大きくなります。  
◎RV3.....#1～#8 CAIJ003-R に接続されているすべての火災通報専用電話機への音量が調整されます。

(7) 外觀・外形寸法図 (単位 mm)



#### (8) 取付方法

- ・アンカーボルト（M4）または同等品にて壁面に取り付けてください。
- ・壁面強度が弱い場合は補強材を使用してください。
- ・壁面に凹凸がある場合はスペーサー等を使用して平行に取り付けてください。
- ・本体扉の開閉のために右側に 40mm 以上のスペースを確保し取り付けを行ってください。
- ・露出配線の場合は、本装置の上部と下部にある、膜付グロメットを使用してください。

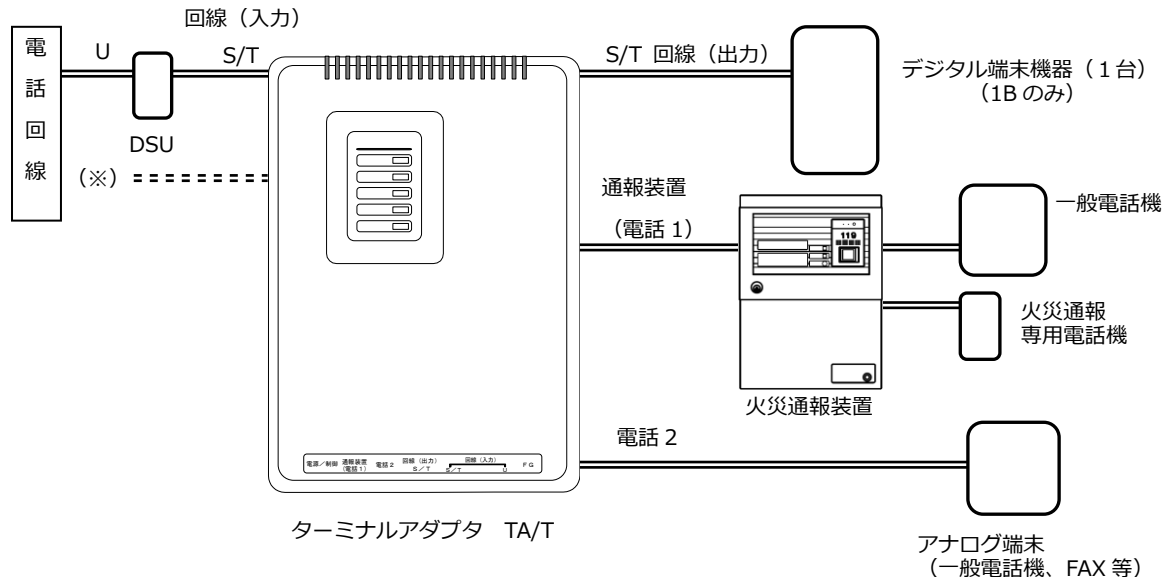
## 6-7. ターミナルアダプタ TA/T との接続

火災通報装置は、以下の方法にて ISDN 回線への接続が可能です。

- (1) 火災通報装置を ISDN 回線に接続する場合は、必ず、下記のターミナルアダプタをご使用ください。

・ターミナルアダプタ TA/T (サクサ (株) 製)

- (2) 接続方法例



(※) ターミナルアダプタ TA/T の内蔵 DSU を使用する場合は、外付け DSU は不要です。  
この場合は、電話回線を直接ターミナルアダプタ TA/T の「U」端子に接続してください。

- (3) 動作試験を行う際は、サクサ (株) 製 iANTS-102 試験装置 (安全センター認定: 評 13-052 号) をご使用ください。

・ iANTS-102 のお問合せは購入先にお願いします。

なお、iANTS-102 は生産終了しているため、新規購入はできません。

- (4) 接続工事上の注意事項

ターミナルアダプタ TA/T の電話回線側 (S/T IN) には、他のデジタル端末機器は接続しないでください。

ターミナルアダプタ TA/T は、火災通報装置の優先発信機能を持っています。

火災通報装置が起動すると、他で使用している通信、通話が強制的に切断されますので、ご注意ください。

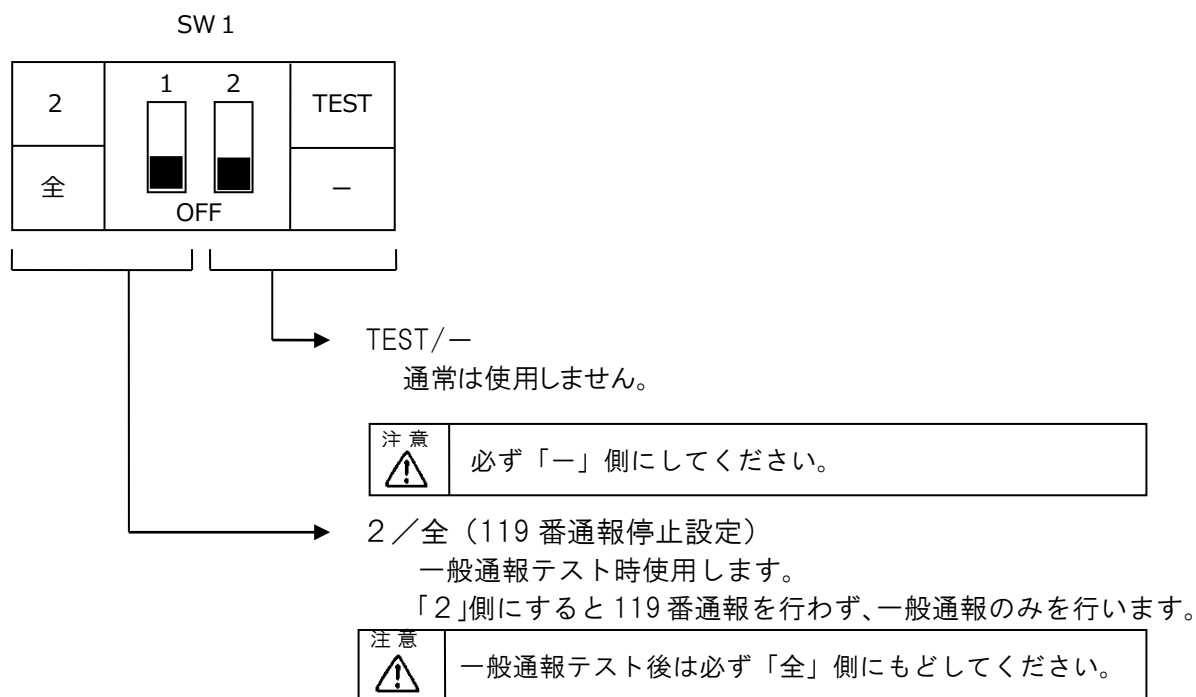
注) 詳細については、ターミナルアダプタ TA/T に付属の工事要領書「通報装置との接続詳細」を確認してください。(CAFJ002-R との接続は SDE-204F と同等となります。)

## 7 設定および登録

ご使用になる前に下記の登録が必要です。

内部のディップスイッチおよびジャンパー、テンキーによりそれぞれ設定登録してください。  
スイッチ、ジャンパー、テンキーの場所については P.4～5 をご参照ください。

### 7-1. ディップスイッチによる設定 (SW1)



### 7-2. ジャンパーによる設定 (JP2、JP3、JP5)

逆信時の一般電話機鳴動設定を行います。

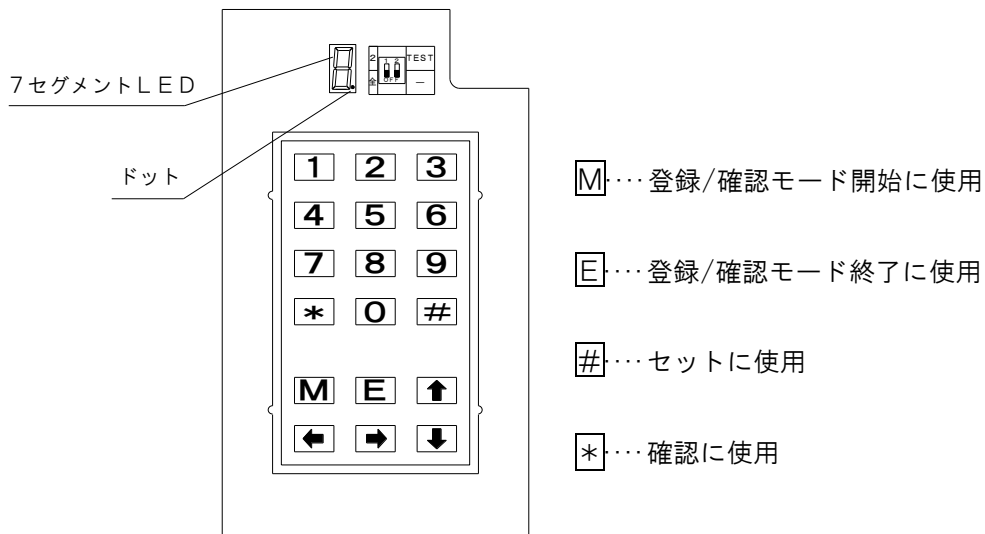
#### (1) 逆信時の電話機ベル鳴動ジャンパー (JP2、3)

- ON 側 : 火災通報専用電話機・一般電話機の両方が鳴ります。(通常は使用しません)  
OFF 側 : 火災通報専用電話機のみ鳴ります。(初期設定)  
(JP2、3 は必ず OFF 側に設定にしてください。)

#### (2) 火災通報専用電話機使用ジャンパー (JP5)

- ON 側 : 火災通報専用電話機を接続しない場合 (通常は使用しません)  
(一般電話機で逆信を受ける場合)  
OFF 側 : 火災通報専用電話機を接続する場合 (初期設定)  
(火災通報専用電話機で逆信を受ける場合)

### 7-3. テンキーと7セグメントLEDによる登録と確認方法



テンキーおよび7セグメントLEDにより次の登録、および確認が行えます。

#### (1) 設定の登録方法

- ① **M**を押す。(登録/確認モード開始、7セグメントLEDのドット表示部が点灯します。)  
[登録/確認モード開始]
- ② **0 1 #**~**4 7 #**のうち登録したいコードを押します。
- ③ 登録したい内容の数字を押します。
- ④ もう一度**#**を押します。(登録された内容が順次7セグメントLEDに表示されます)
- ⑤ ②~④の繰返しにより次項目を選択します。
- ⑥ 登録作業を終了したい場合は**E**を押します。  
(7セグメントLEDのドット表示部が消灯します。)[登録モード終了]

#### 〔登録内容一覧〕

| コード<br>□□# | 登録項目                                   | 登録内容                                                                                                                       | 初期<br>値 |
|------------|----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 01<br>~16  | 一般通報先                                  | 通報先電話番号16ヶ所<br>入力桁数：3~24桁<br>一般通報先は市外局番から入力してください。                                                                         | —       |
| 17         | 一般通報先の<br>シリーズコール                      | 0：オールコール（すべての一般通報先が応答するまで呼び出す）<br>1：応答エンド（1ヶ所応答した所で通報打ち切り）                                                                 | 0       |
| 18         | 一般通報時の火災報知ベル・消防確受ランプ出力<br>P.16、P.29 参照 | 0：一般通報時に火災報知ベルおよび消防確受ランプを出力しない時<br>1：一般通報時に火災報知ベルおよび消防確受ランプを出力する時                                                          | 1       |
| 19         | メッセージの切替<br><br>P.27（8-1）参照            | 0：自火報入力による通報動作中に押ボタンが押されたとき自火報メッセージ1回送出後に、火災通報ボタンによるメッセージに切替<br>1：自火報入力による通報動作中に押しボタンが押されたとき自火報メッセージ途中でも火災通報ボタンによるメッセージに切替 | 1       |

| コード<br>□□# | 登録項目                                                         | 登録内容                                                                                          | 初期<br>値 |
|------------|--------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 20         | 一般通報時の応答                                                     | 0：1回目の通報メッセージの全てを一般通報先の受信者が聞かないと応答とみなしません。<br>1：1回目の通報メッセージの途中で一般通報先の受信者が電話を切断した場合でも応答と見なします。 | 1       |
| 26         | 音声検出用レベル<br>※1                                               | 0：音声検出の感度をよくするとき<br>1：標準<br>2：音声検出の感度をにぶらせるとき                                                 | 1       |
| 27         | メッセージ送出開始時間<br>※2                                            | 0：5秒<br>1：10秒                                                                                 | 0       |
| 31         | 回線種別(電話回線のダイヤル方式)<br>IP回線の場合,P38(10.5)参照                     | 1：DP10pps(ダイヤル式)<br>2：DP20pps(ダイヤル式)<br>3：PB(プッシュボタン式)                                        | 3       |
| 33         | 0発信の設定                                                       | 0：0発信なし<br>1：0発信あり                                                                            | 0       |
| 34         | 自火報入力時の固定フレーズ内容<br>P.27 参照                                   | 0：自火報による通報動作メッセージ<br>1：火災通報ボタンによる通報動作時メッセージ                                                   | 0       |
| 35         | 一般通報メッセージ送出時間<br>P.29(8-6.(2))参照                             | 0：300秒<br>1：60秒                                                                               | 1       |
| 36         | 通話割り込みタイミングの設定                                               | 0：通報メッセージの途中でも即時通話割り込みが可能<br>1：1回目の通報メッセージ送出後に自動的に切り替え                                        | 0       |
| 37         | 火災通報ボタン押下時、自火報入力時の不定フレーズ内容<br>P.27(8-3)参照                    | 0：火災通報ボタン押下時はAチャンネル(8秒)<br>自火報入力時はBチャンネル(8秒)<br>1：火災通報ボタン押下時、自火報入力時、共にA+Bチャンネル(16秒)           | 1       |
| 38         | 一般通報時のモニター<br>※3                                             | 0：モニターなし<br>1：モニターあり                                                                          | 1       |
| 39         | 火災通報ボタンで通報し119番が応答するまでの間に、通話割り込みボタンを操作することによって、通報の取り消しを行える機能 | 0：あり<br>1：なし                                                                                  | 0       |
| 40         | 送信メッセージ「逆信してください」の付加                                         | 0：あり<br>1：なし                                                                                  | 0       |
| 41         | F1+、F1-(火災通報ボタン)<br>F2+、F2-(火災受信機)<br>短絡監視機能                 | 0：なし<br>1：あり(※4)                                                                              | 0       |
| 43         | F1+、F1-(火災通報ボタン)<br>断線監視機能                                   | 0：なし<br>1：あり(※5)                                                                              | 0       |



| コード<br>□□# | 登録項目                                      | 登録内容                                          | 初期<br>値 |
|------------|-------------------------------------------|-----------------------------------------------|---------|
| 44         | F2+、F2-(火災受信機)<br>断線監視機能                  | 0：なし<br>1：あり (※5)                             | 0       |
| 45         | 発信時の電話番号最終桁<br>へのダイヤル付加機能<br>(PB 発信時のみ有効) | 0：なし<br>1：ダイヤル「#」を付加する (※6)<br>2：ダイヤル「*」を付加する | 0       |
| 46         | 使用せず                                      | 初期値の「0」から変更しないで下さい。                           | 0       |
| 47         | 使用せず                                      | 初期値の「1」から変更しないで下さい。                           | 1       |

※1：通報時、通報先の音声を検出してからメッセージを流します。この時の音声検出レベルの設定です。

※2：通報時、通報先の音声を検出されない時に、メッセージを流し始めるまでの時間です。

※3：一般通報時、火災通報装置本体のスピーカーから通報内容を流す、モニター機能の設定です。

※4：短絡監視ありにする場合はP.29の通りにダイオードを接続してください。

※5：断線監視ありにする場合はP.31の通りにダイオードと抵抗を接続してください。

※6：I P電話回線に接続した場合にダイヤルの最後に#を付加する事で、通報の時間が約4～6秒短縮できる場合があります。(電話会社による。)電話回線の通信事業者へ回線を確認の上、ダイヤルの最後に#を付加する設定を行って下さい。

#### 〔登録設定例〕

- (1) 0 1 # 0 3 0 0 0 0 Δ Δ Δ Δ # …… 第1通報先 (最大24桁)  
例) 03-0000-ΔΔΔΔ
- ～
- (16) 1 6 # 0 3 0 0 0 0 Δ Δ Δ Δ # …… 第16通報先 (最大24桁)  
例) 03-0000-ΔΔΔΔ
- (17) 1 7 # 0 # …………… オールコール (通報先すべてに通報)
- (18) 1 8 # 1 # …………… 一般通報時の火災報知ベル、消防確受ランプの出力有
- (19) 1 9 # 1 # …………… メッセージ途中でも即時切替
- (20) 2 0 # 1 # …………… メッセージ途中で切れても応答とみなす
- (26) 2 6 # 1 # …………… 音声検出時の感度標準
- (27) 2 7 # 0 # …………… メッセージ送出開始時間5秒
- (31) 3 1 # 3 # …………… 火災通報装置の回線種別PB
- (33) 3 3 # 0 # …………… 0発信なし
- (34) 3 4 # 0 # …………… F2+F2-入力時、自火報による通報メッセージ送出
- (35) 3 5 # 1 # …………… 一般通報メッセージ送出時間60秒
- (36) 3 6 # 0 # …………… 通話割込は即時
- (37) 3 7 # 1 # …………… F1+F1-入力時、F2+,F2-入力時、共にA+Bチャンネル
- (38) 3 8 # 1 # …………… 一般通報時のモニター機能あり
- (39) 3 9 # 0 # …………… 応答までの通報取り消し機能あり
- (40) 4 0 # 0 # …………… 「逆信してください」を付加する
- (41) 4 1 # 0 # …………… F1+,F1-とF2+,F2-の短絡監視を行わない。
- (43) 4 3 # 0 # …………… F1+,F1-の断線監視を行わない
- (44) 4 4 # 0 # …………… F2+,F2-の断線監視を行わない
- (45) 4 5 # 0 # …………… 発信電話番号最終桁にダイヤルを付加しない
- E …………… 終了

## (2) 設定の確認方法

- ① **M** を押す。(7 セグメント LED のドット表示部が点灯します。)[登録／確認モード開始]
- ② **0 1 \*** ～ **4 7 \*** のうち確認したいコードを押します。
- ③ 登録されている内容を順次7セグメント LED に表示します。
- ④ (2) ～ (3) の繰返しにより次項目を選択します。
- ⑤ 確認作業を終了したい場合は **E** を押します。[確認モード終了]  
(7 セグメント LED のドット表示部が消灯します。)

## (3) 設定の消去方法（一般通報先電話番号のみ）

- ① **M** を押す。(7 セグメント LED のドット表示部が点灯します。)  
[登録／確認モード開始]
  - ② **0 1 #** ～ **1 6 #** のうち消去したい通報先コードを押します。
  - ③ もう一度 **#** を押します。(消去)
  - ④ (2) ～ (3) の繰返しにより次項目を選択します。
  - ⑤ 作業を終了したい場合は **E** を押します。[確認モード終了]  
(7 セグメント LED のドット表示部が消灯します。)
- 消去例：**M 0 5 # #** で第5一般通報先の電話番号登録が消去されます。

## (4) 全登録内容の初期化方法（工場出荷時設定にもどす場合）

- ① **M** + **↑** + **9** キーを同時に押しながら装置を起動（※）します。
  - ② 7セグメントLEDに **1.** が表示されたら、キーを離します。
- このとき火災通報装置は特殊な動作モードになっています。
- ③ しばらくすると初期化処理が完了し結果を表示します。  
正常終了・・・ **—.** (ハイフン)  
異常終了・・・ **E.**
  - ④ 初期化完了後、テンキーは何も押さずに、装置を再起動（※）します。

必ず、この再起動を実施してください。  
実施しなかった場合、火災通報ができません。

※ 起動、再起動する場合は、火災通報装置に予備電源接続していない状態で、  
電源 SW を OFF/ON してください。

- ⑤ 登録内容が初期値になっていることを確認します。

## 機能

## 8-1. 通報の優先順位機能

火災通報装置の動作は、自火報 (F2) からの入力より火災通報ボタン (F1) が優先となります。

- (1) 火災通報ボタンの通報動作中に自火報入力があっても無視されます。
- (2) 自火報連動通報動作中に火災通報ボタン入力を検知した場合は、次のメッセージからまたは即時に（設定による）通報メッセージを火災通報ボタン用メッセージに切り換えます。

## 8-2. 強制切断機能

火災通報装置に接続された電話機を使用中に火災通報ボタン（F1）や自火報（F2）からの入力があった場合は、通話を強制切断し、通報動作を開始します。

また呼び出し中や着信中も同様に強制切断します。

### 8-3. 音声メッセージ

あらかじめセットされた当該建物の住所や名称などを、音声メッセージにより通報します。

- ### (1) 119 番への通報メッセージ

## ①火災通報ボタンによる通報動作時

「ピッピッピッ ピッピッピッ 火事です 火事です 〇〇・・・・〇〇 逆信してください。」  
固定フレーズ1 不定フレーズ ※1 固定フレーズ2

※1：不定フレーズはP.24「火災通報ボタン押下時、自火報入力時の不定フレーズ内容」の設定により、AチャンネルまたはA+Bチャンネルの録音内容が流れます。

### ②自火報による通報動作時

「ピンポ～ン ピンポ～ン自動火災報知設備が作動しました」  
固定フレーズ1 ※2

〇〇・・・〇〇 逆信してください。」  
不定フレーズ 固定フレーズ2  
※3

※2：固定フレーズ1はP.24「自火報入力時の固定フレーズ内容」の設定により、『①火災通報ボタンによる通報動作時』のメッセージに設定することができます。

※ 3：不定フレーズはP.24「火災通報ボタン押下時、自火報入力時の不定フレーズ内容」の設定により、BチャンネルまたはA+Bチャンネルの録音内容が流れます。

- ## (2) 一般通報先への通報メッセージ

「〇〇・・・・・〇〇      〇〇・・・・〇〇」  
固定フレーズ1 ※4      不定フレーズ ※4

※４：火災通報ボタンによる通報動作時には『①火災通報ボタンによる通報動作時』のメッセージ、  
自火報による通報動作時には『②自火報による通報動作時』の録音内容が流れます。  
なお、固定フレーズ２は流れません。

## 《不定フレーズについて》

- ・音声 ROM パックに 2 種類（A チャンネル、B チャンネル）の録音ができます。録音時間は各チャンネル 8 秒間です。
  - ・所在地、建物名および電話番号等に関する内容とします。
  - ・所轄の消防機関と打ち合わせの上、決定してください。
- （音声 ROM パックは当社で録音致します。）

## 8-4. 火災通報ボタン、自火報の短絡検出機能

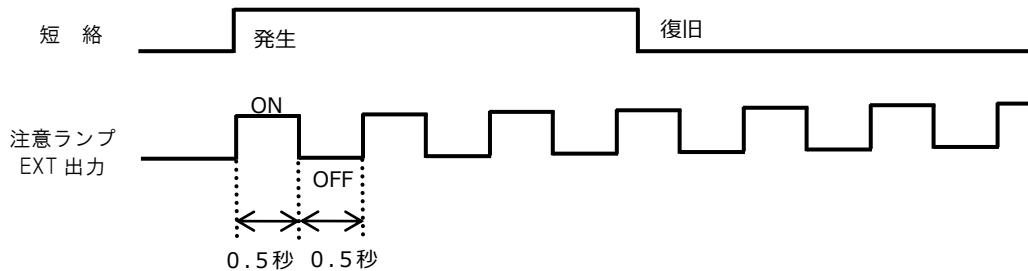
標準では使用しません。(初期設定はF1・F2の短絡検出「なし」)

本機能を使用して短絡検出を行う場合、F2+、F2-にダイオードを接続する必要があります。  
平常状態への復旧には装置内部基板上的のリセットスイッチ(SW2)を押す、もしくは本体の再起動が必要です。使用される場合はご注意ください。

火災通報ボタン(F1)または自火報(F2)の配線が短絡した場合、注意ランプが点滅し、EXT端子に出力(0.5秒間隔で断続出力)することができます。短絡検出は常時行っています。

### (1) 外部表示

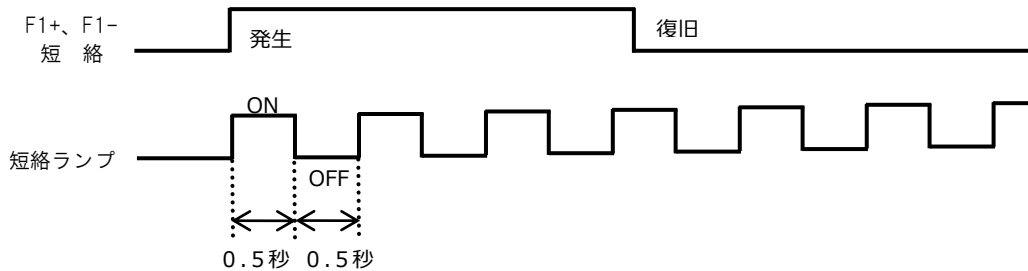
F1+、F1-、F2+、F2-の配線の短絡を検出した場合、配線注意ランプとEXT出力に表示を行います。



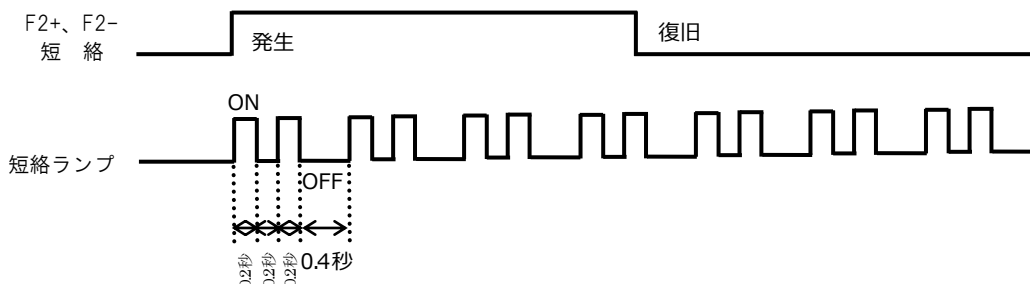
### (2) 内部表示

F1+、F1-、F2+、F2-の配線の短絡を検出した場合、基板上的の短絡ランプに表示を行います。

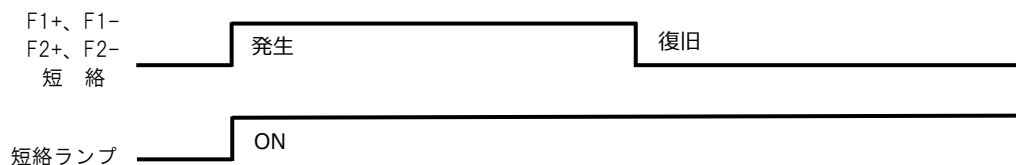
#### ① F1+、F1-が短絡した場合



#### ② F2+、F2-が短絡した場合



#### ③ F1+、F1-とF2+、F2-共に短絡した場合



※短絡検出機能を使用する場合には、設定はF1+、F1-／F2+、F2-の短絡監視機能を「あり」に設定し、短絡監視用の配線を行う必要があります。  
(8-5. 短絡監視を行う場合の接続 参照)

## 8-5. 短絡監視を行う場合の接続

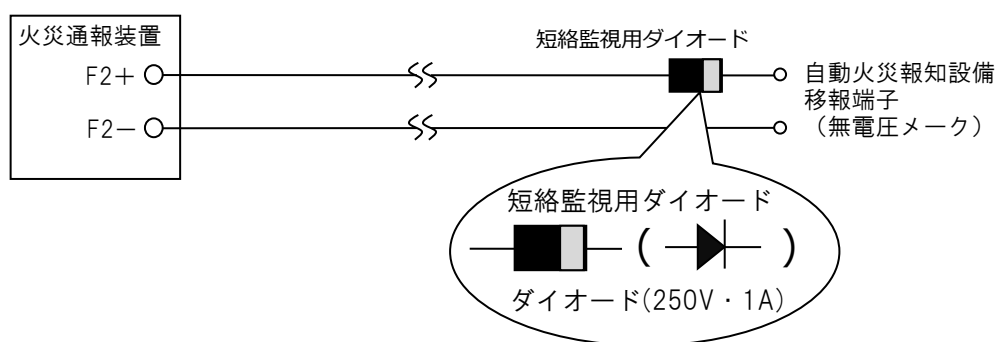
標準では使用しません。(初期設定は短絡検出「なし」)

本機能を使用して短絡検出を行う場合、「F1+、F1-／F2+、F2-短絡監視機能」の設定を「あり」に設定し、自火報（F2+、F2-）にダイオードを接続する必要があります。

短絡異常が発生した場合、平常状態への復旧には装置内部基板上的のリセットスイッチ（SW2）を押す、もしくは本体の再起動が必要です。使用される場合はご注意ください。

短絡監視を行う場合、付属のダイオードを以下の向きで接続してください。また、登録内容一覧にある短絡監視機能の設定を「あり」にしてください。

(7-3. テンキーと7セグメントLEDによる登録と確認方法 参照)



※短絡監視機能が「なし」の場合、ダイオードの接続は不要です。

※短絡監視機能が「あり」の場合、ダイオードから火災通報装置側で配線が短絡しても119番通報動作を行いません。

※火災通報専用電話機の内部にダイオードが入っているため、F1+、F1-に別途ダイオードを入れる必要はありません。

※ダイオードには向きがありますので、配線にはご注意ください。

## 8-6. 火災通報ボタン、自火報の断線検出機能

標準では使用しません。(初期設定は断線検出「なし」)

平常状態への復旧には装置内部基板上のリセットスイッチ (SW2) を押す、もしくは本体の再起動が必要です。使用される場合はご注意ください。

火災通報ボタン(F1)または自火報(F2)の配線が断線した場合、注意ランプが点滅し、EXT 端子に出力 (0.5 秒間隔で断続出力) することができます。

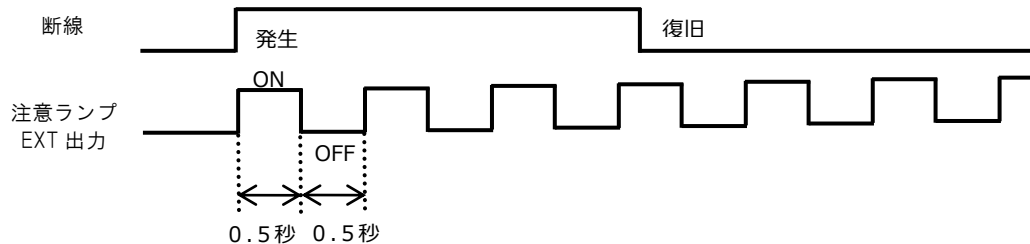
### (1) ボタン線の断線監視タイミングについて

ボタン線の断線監視は以下のタイミングで行います。

『火災通報装置の起動時』『登録／確認モードの終了時』『テンキー操作でボタン線断線試験を実行した場合』『約 1 時間に 1 回の周期で実施』

### (2) 外部表示

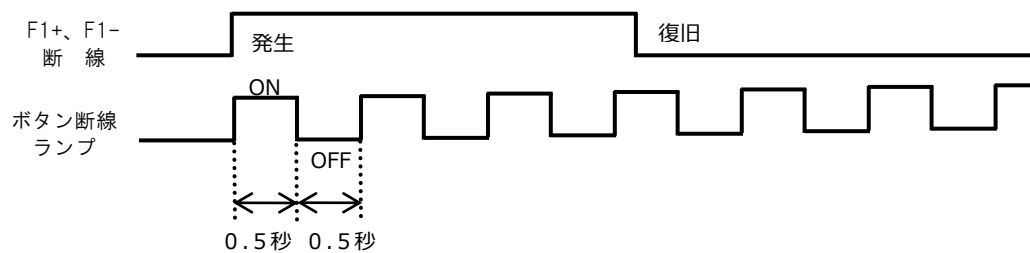
F1+, F1-, F2+, F2-の配線の断線を検出した場合、配線注意ランプと EXT 出力に表示を行います。



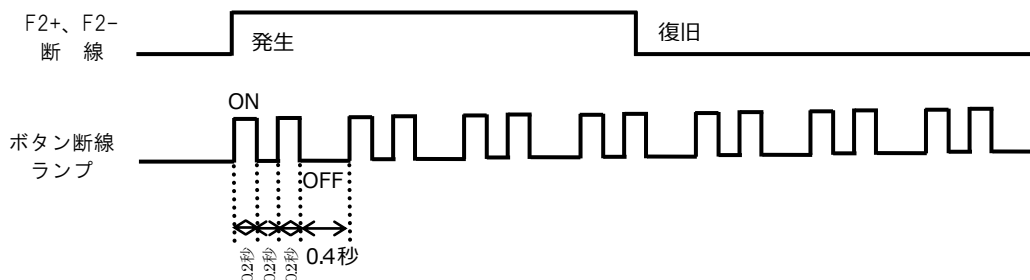
### (3) 内部表示

F1+, F1-, F2+, F2-の配線の断線を検出した場合、ボタン断線ランプに表示を行います。

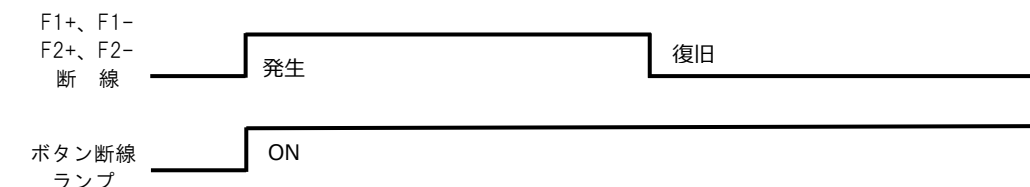
#### ① F1+, F1-が断線した場合



#### ② F2+, F2-が断線した場合



#### ③ F1+, F1-と F2+, F2-共に断線した場合



※ 断線検出機能を使用する場合には、設定 F1+, F1-断線機能、F2+, F2-断線機能を「あり」に設定し、火災ボタンの接続に断線監視用の配線を行う必要があります。

(8-7. 断線監視を行う場合の接続 参照)

※ 断線監視動作が有効な場合、約 1 時間に 1 回の周期でリレー動作音「カチッ」と聞こえますが、機器の故障ではありません。

## 8-7. 断線監視を行う場合の接続

標準としての使用はおすすめしません。（初期設定は断線検出「なし」）

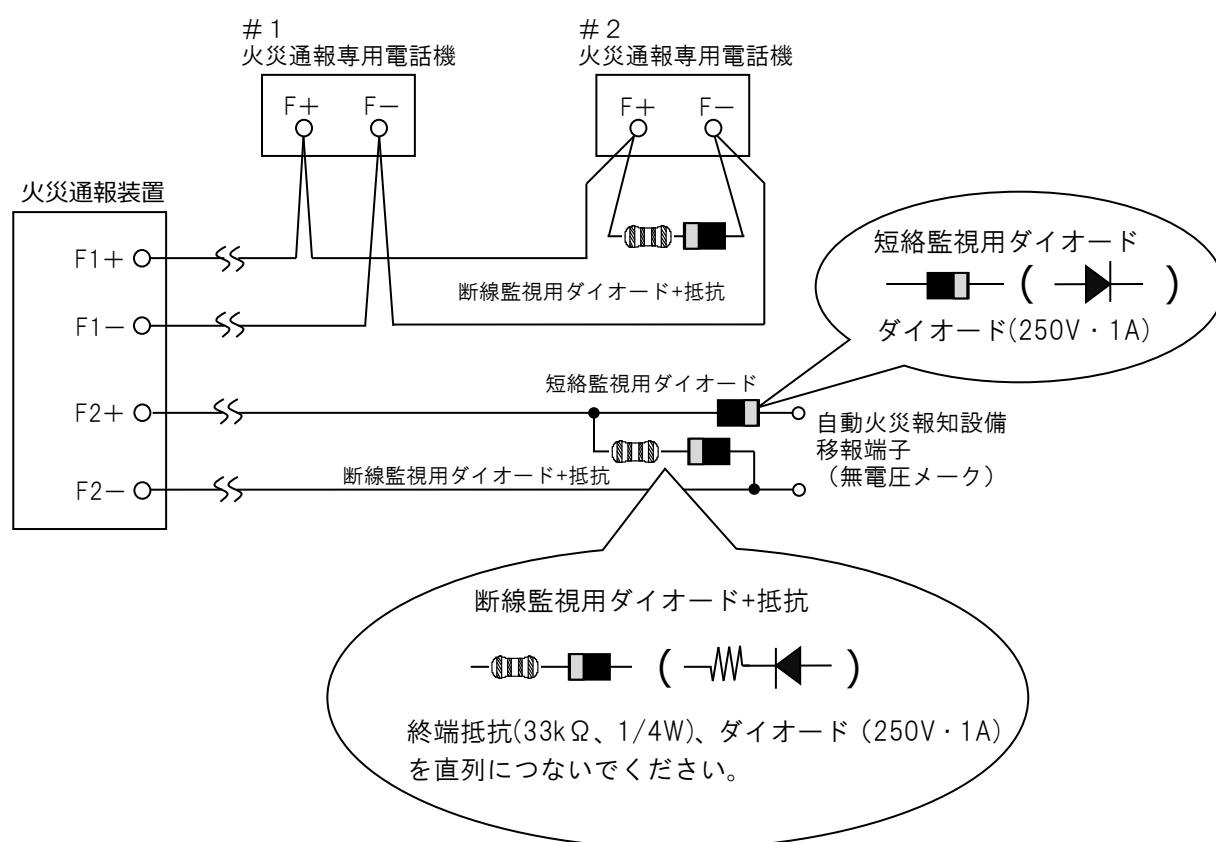
平常状態への復旧には装置内部基板上のリセットスイッチ（SW2）を押す、もしくは本体の再起動が必要です。使用される場合はご注意ください。

火災通報装置と火災通報専用電話機（F1+、F1-）、火災通報装置と自火報（F2+、F2-）配線の断線監視を行う場合には、送り配線で配線し、以下の向きでダイオードと抵抗を接続してください。また、登録内容一覧にある断線監視機能を「あり」にしてください。

(7-3. テンキーと7セグメント LED による登録と確認方法 参照)

例) F1+、F1-の断線監視機能と短絡監視機能を「あり」、

F2+、F2-の断線監視機能と短絡監視機能を「あり」に設定した場合



※断線監視用ダイオード+抵抗は、送り配線で火災通報装置から最も遠い箇所に取り付けてください。それ以外の箇所で接続した場合は、断線監視が正常に行えません。

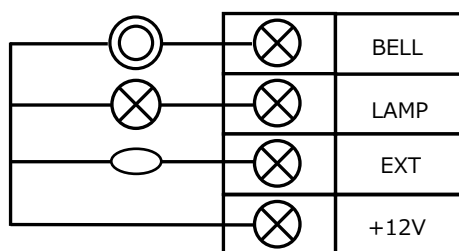
※ダイオードには極性がありますので、接続にはご注意ください。

※火災通報装置から並列配線を行った場合には、断線監視は出来ません。

※断線監視動作は、約1時間に1回の周期で行います。その際、リレー動作音「カチッ」と聞こえることがありますが、機器の故障ではありません。

## 8－8．火災通報ベル、消防確受ランプなどとの接続

火災通報ベル、消防確受ランプ等を使用する場合は以下のように端子台と配線してください。



BELL: 火災通報ボタン押下から119番からの逆信を受けるまでの間作動します。

LAMP: 119番との通話開始から通報動作の終了まで作動します。

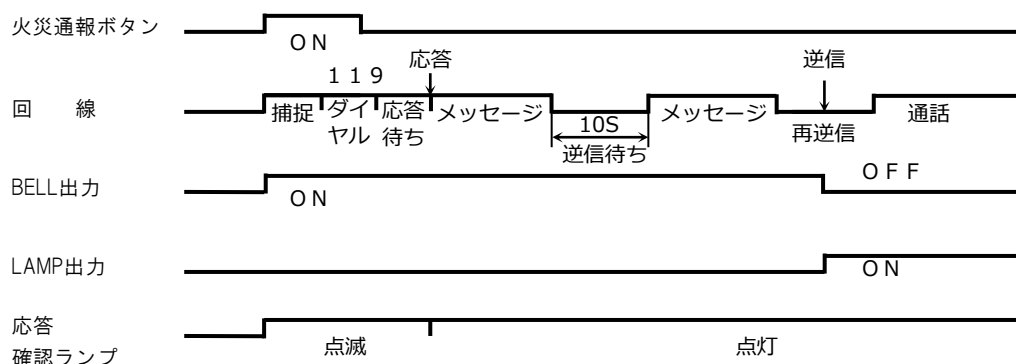
EXT: ボタン線に短絡、断線が発生した場合に作動します。

※ BELL 端子、LAMP 端子の動作の詳細は8－9．LAMP 出力・BELL 出力機能を参照してください。

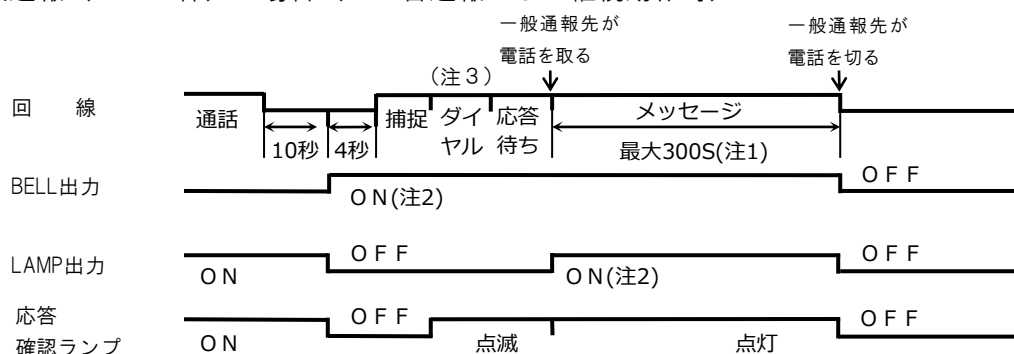
※ EXT 端子の動作の詳細は8－4．火災通報ボタン、自火報の短絡検出機能及び、8－6．火災通報ボタン、自火報の断線検出機能を参照してください。

## 8－9．LAMP 出力・BELL 出力機能（P.16 端子配列図 参照）

### （1）119 番通報の場合



### （2）一般通報（1～16 件）の場合（119 番通報からの継続動作時）



注1）一般通報メッセージ送出時間の初期設定は60秒です。

注2）一般通報時の火災報知ベル・消防確受ランプ出力設定により、BELL・LAMP出力をなしにすることができます。

（7－3．テンキーと7セグメントLEDによる登録と確認方法 参照）

注3）一般通報先が電話に出なかった場合、12コール（約45秒）後に次の一般通報先に切り替えます。

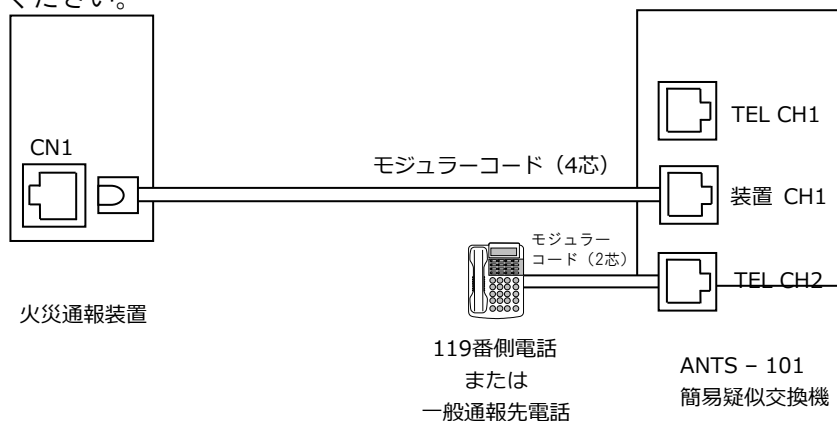


## 9-1. 動作試験

ANTS-101 簡易疑似交換機を使用して動作試験を行う時は下記の要領にて行ってください。（119 番へは通報しません。）

この試験を行う時は、火災通報装置に接続されている一般電話機が使われていないことを確認してから行ってください。

試験が終わった後は、電話回線の接続を元に戻し、一般電話機が使用できることを確認してください。



- (1) 上図の方法で接続します。
- (2) 火災通報装置と 119 番側電話機の間で、通報試験を行うことができます。
- (3) ダイヤル番号は ダイヤル表示用 LCD に表示されます。
- (4) 送出メッセージや通話内容は ANTS-101 簡易交換機の 内蔵スピーカー よりモニターされます。
- (5) 逆信 スイッチを押すことにより、119 番側から呼返し信号を送出することができます。
- (6) 話中 スイッチを押すことにより、119 番を話中状態にすることができます。
- (7) 火災通報装置は 119 番以外の一般通報を行うこともできます。

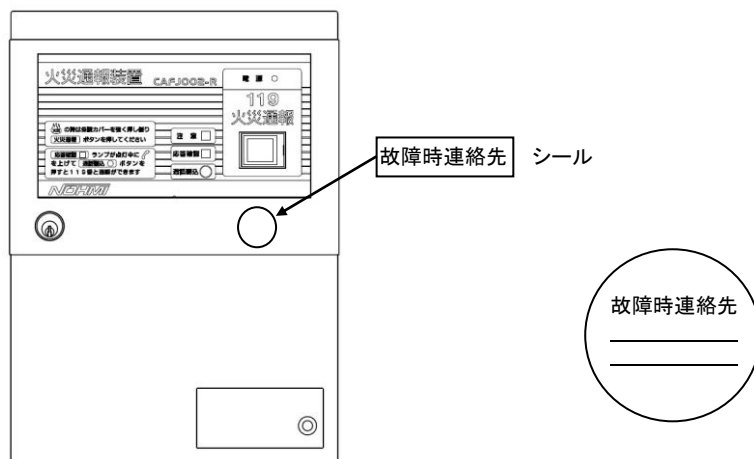
注) 簡易疑似交換機を用いた取扱いについては、簡易疑似交換機の説明書を参照ください。

## 9-2. 付属シールの貼付

火災通報装置に付属のシールは、適切な運用を図るために必ず貼り付けてください。

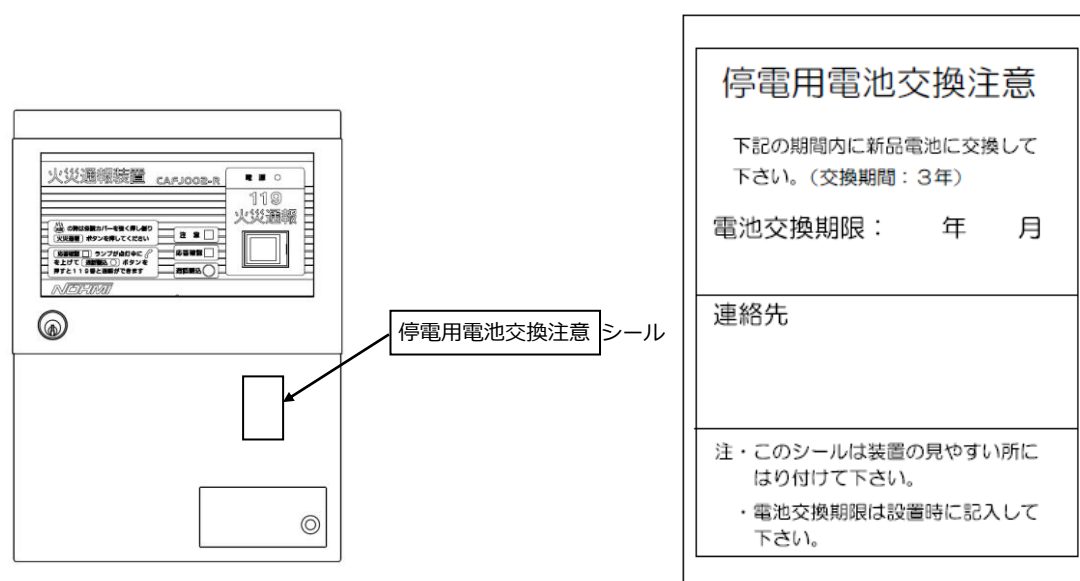
### (1) 故障時連絡先 シール

保守点検契約先などの必要事項（連絡先・電話番号）を記入し、下記の位置に貼り付けてください。



### (2) 停電用電池交換注意 シール

必要事項（電池交換期限・連絡先）を記入し、下記の位置に貼り付けてください。



※電池交換期限が過ぎますと、万一の停電発生時に装置が正常に動作しないことがあります。

尚、記入内容についてはお客様を担当する保守業者とご相談ください。

## 9-3. 予備電源の動作確認

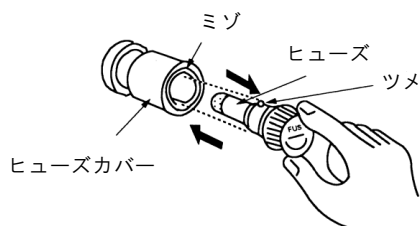
予備電源を接続したまま、電源スイッチを OFF にして停電状態にしたうえで試験通報などの動作確認を行います。

注) 予備電源の耐用年数は約3年です。耐用年数を経過する前に新品の鉛蓄電池と交換してください。

## 9-4. ヒューズの交換について

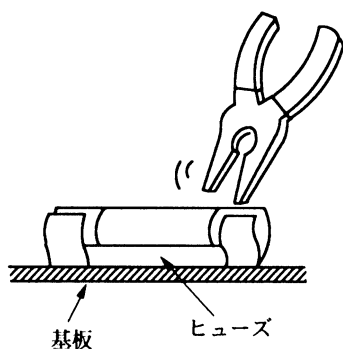
ヒューズは出荷時に装着されております。(P.4 [火災通報装置内部の各部名称] 参照)  
何らかの原因によりヒューズが破損した場合は付属品と交換してください。

(1) AC100V 電源用ヒューズ [F1/F2 : 1A (日本製線 : FSL 250V 1A 相当品)]



ヒューズカバーのふたを押し込みながら左にまわして抜き取り、中のヒューズを交換します。

(2) 外部供給電源出力用ヒューズ [F3 : 0.5A (日本製線 : FBR 250V 0.5A 相当品)]

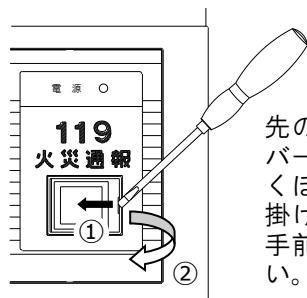


はめ込み方式で固定されていますのでペンチ等で交換します。  
(保護カバーがついています。)

## 9-5. 火災通報ボタンのアクリルカバー交換について

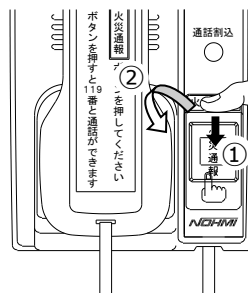
通報等で火災通報ボタンの保護カバーを割ったあとは、付属品と交換してください。

＜火災通報装置 保護カバーの外し方＞



先の細いマイナスドライバ等を保護カバー右のくぼみに入れ、左に力を掛けながら保護カバーを手前に引き出してください。

＜火災通報専用電話機 保護カバーの外し方＞



指等で保護カバーの上から下に力を掛けながら、保護カバーを手前に引き出してください。

## 9－6．通報メッセージの試験方法（聴取）

### （1）火災通報ボタン用メッセージ

- ① **M** を押す。（登録／確認モード開始、7 セグメント LED のドット表示部が点灯します。）
- ② **2** **1** **\*** を押します。
- ③ 「ピッピッピッ ピッピッピッ 火事です 火事です〇〇・・〇〇逆信してください」
- ④ 作業を終了したい場合は **E** を押します。  
（7 セグメント LED のドット表示部が消灯します。）

### （2）自火報用メッセージ

- ① **M** を押す。（登録／確認モード開始、7 セグメント LED のドット表示部が点灯します。）
- ② **2** **2** **\*** を押します。
- ③ 「ピンポ〜ン ピンポ〜ン自動火災報知設備が作動しました〇〇・・〇〇逆信してください」
- ④ 作業を終了したい場合は **E** を押します。  
（7 セグメント LED のドット表示部が消灯します。）

## 9－7．通報動作の試験方法

### （1）火災通報ボタンの通報動作試験（実際に通報することはありません）

- ① **M** を押す。（登録／確認モード開始、7 セグメント LED のドット表示部が点灯します。）
- ② **2** **3** **\*** を押します。
- ③ **1.** **1.** **9.** を表示と共に「イチ、イチ、キュウ」の音声と通報メッセージ「ピッピッピッ、・・・・・。逆信してください。」を送出します。  
一般通報先の登録がされている場合は、各通報先について **X****X** …… **X****X**  
（一般通報先電話番号）を 7 セグメント LED に表示し通報メッセージ「ピッピッピッ、・・・・・。」を送出します。
- ④ 作業を終了したい場合は **E** を押します。  
（7 セグメント LED のドット表示部が消灯します。）

### （2）自火報入力の通報動作試験（実際に通報することはありません）

- ① **M** を押す。（登録／確認モード開始、7 セグメント LED のドット表示部が点灯します。）
- ② **2** **4** **\*** を押します。
- ③ **1.** **1.** **9.** を表示と共に「イチ、イチ、キュウ」の音声と通報メッセージ「ピンポ〜ン、・・・・・。逆信してください。」を送出します。  
一般通報先の登録がされている場合は、各通報先について **X****X** …… **X****X**  
（一般通報先電話番号）を 7 セグメント LED に表示し通報メッセージ「ピンポ〜ン、・・・・・。」を送出します。
- ④ 作業を終了したい場合は **E** を押します。  
（7 セグメント LED のドット表示部が消灯します。）

## 9－8．予備電源の試験方法

- ① **M** を押す。（登録／確認モード開始、7 セグメント LED のドット表示部が点灯します。）
- ② **2** **5** **\*** を押します。
- ③ 結果を音で知らせます。  
正常終了・・・・・「ピンポ〜ン」 音  
異常終了・・・・・「ピッピッピッ」 音
- ④ 結果の音を停止する場合は **E** を押します。
- ⑤ 作業を終了したい場合は **E** を押します。  
（7 セグメント LED のドット表示部が消灯します。）

## 9-9. 「F1+、F1-」および「F2+、F2-」の断線試験方法

- ① **[M]** を押す。(登録／確認モード開始、7 セグメント LED のドット表示部が点灯します。)
- ② **[5][1][\*]** を押します。(F1+、F1-の場合「51\*」、F2+、F2-の場合「52\*」)
- ③ 結果を音で知らせます。  
 正常終了 . . . . .「ピンポ〜ン」 音  
 異常終了(断線発生時) . . . . .「ピッピッピッ」 音
- ④ 結果の音を停止する場合は **[E]** を押します。
- ⑤ 作業を終了したい場合は **[E]** を押します。  
 (7 セグメント LED のドット表示部が消灯します。)

注) 断線発生時の 7 セグメント LED 表示について

断線発生時、設定「F1+、F1-断線機能」の設定内容により 7 セグメント LED に以下の結果を表示します。

- [1]** . . . . . 設定「F1+、F1-断線機能」が「あり」に設定されている。
- [2]** . . . . . 設定「F1+、F1-断線機能」が「なし」に設定されている。

運用時もボタン線断線検出を行う場合、設定「F1+、F1-断線機能」を「あり」に設定してください。(F2+、F2-も同様です。)

## 9-10. ソフトウェアバージョンの確認方法

- ① **[M]** を押す。(登録／確認モード開始、7 セグメント LED のドット表示部が点灯します。)
- ② **[9][9][\*]** を押します。
- ③ バージョンを順次 7 セグメント LED に表示します。  
 例) バージョン 1.12 の場合  
     **[0].[1].[ ].[1].[2].[ ]** (01.12)  
     ↓表示順
- ④ 作業を終了したい場合は **[E]** を押します。  
 (7 セグメント LED のドット表示部が消灯します。)

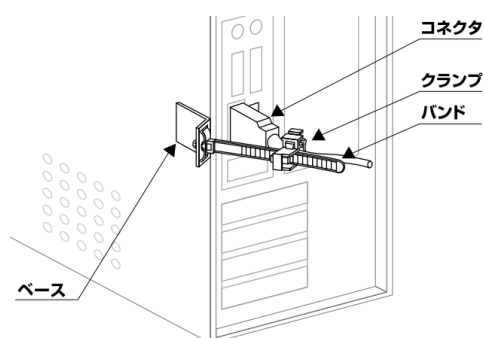
〔確認機能一覧〕

| コード<br>□□* | 登録項目                    | 登録内容                                                     | 初期値 |
|------------|-------------------------|----------------------------------------------------------|-----|
| 21         | F1+、F1-<br>メッセージモニターテスト | 火災通報ボタン押下時に送出される<br>メッセージ内容の聴取                           | —   |
| 22         | F2+、F2-<br>メッセージモニターテスト | 自火報連動時に送出される<br>メッセージ内容の聴取                               | —   |
| 23         | F1+、F1-<br>シミュレーション     | 火災通報ボタン押下時の通報先電話番号を<br>7 セグメント LED に順次表示後、メッセージ<br>内容を聴取 | —   |
| 24         | F2+、F2-<br>シミュレーション     | 自火報連動時の通報先電話番号を 7 セグメン<br>ト LED に順次表示後、メッセージ内容を聴取        | —   |
| 25         | 予備電源試験                  | 正常：「ピンポ〜ン」を聴取<br>異常：「ピッピッピッ」を聴取                          | —   |
| 51         | F1+、F1-断線試験             | 正常：「ピンポ〜ン」を聴取<br>異常：「ピッピッピッ」を聴取                          | —   |
| 52         | F2+、F2-断線試験             | 正常：「ピンポ〜ン」を聴取<br>異常：「ピッピッピッ」を聴取                          | —   |
| 99         | ソフトウェアバージョン表示           | 7 セグメント LED にバージョン番号を順次<br>表示                            | —   |

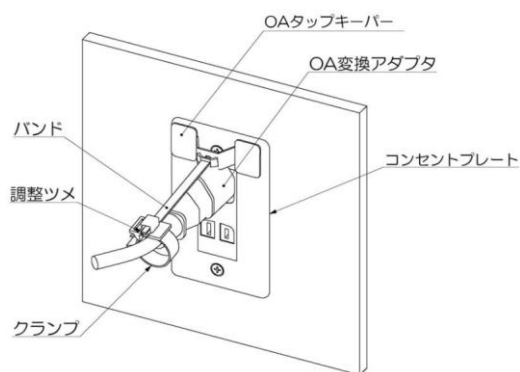
本装置は、インターネットプロトコルを使用した電話回線（IP 電話回線）に接続することが認められている火災通報装置です。

本装置を IP 電話回線に接続してご使用になる場合は、以下のご確認、ご対応をお願いいたします。

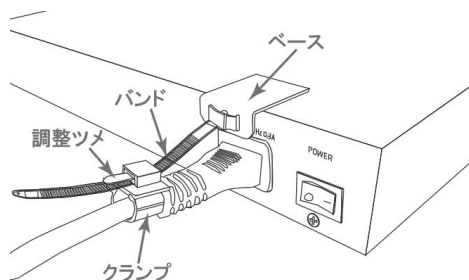
1. IP 電話回線と火災通報装置の間に設けるモデム（回線終端装置）などの周辺機器には停電時 70 分間以上作動させる容量を持つ UPS（無停電電源装置）を設置してください。
2. UPS（無停電電源装置）やモデム（回線終端装置）などの配線の接続部には、ラベルシールやビニールテープなどに火災通報装置用の機器である旨を記載し、貼り付けてください。
3. 一般電話機や FAX 等、同一の IP 電話回線に接続する他の機器等が行う通信の影響により、本装置の機能に支障を生じる恐れのない回線契約および接続位置に設置してください。
4. ご使用になる IP 電話回線の契約内容、回線終端装置等の設定によっては、消防機関への通報、通話ができない可能性があります（050 から始まる電話番号は不可）。電話回線の通信事業者へ消防機関への通報、通話ができるか確認を行って下さい。
5. 回線終端装置の仕様により設定する回線種別（DP 10pps、DP 20pps、PB）が異なります。電話回線の通信事業者へ確認の上、設定を行って下さい。（7-3. テンキーと 7 セグメント LED による登録と確認方法 コード 31 参照）
6. IP 電話回線に接続した場合にダイヤルの最後に # を付加する事で、通報の時間が約 4～6 秒短縮できる場合があります。（電話会社による。）電話回線の通信事業者へ回線を確認の上、ダイヤルの最後に # を付加する設定を行って下さい。（7-3. テンキーと 7 セグメント LED による登録と確認方法 コード 45 参照）
7. UPS（無停電電源装置）やモデム（回線終端装置）などの配線の接続部（常用電源が供給される配線のコンセント部分など、全ての着脱可能な接続部）は、以下の器具などを使用し、振動や衝撃によって配線が抜けないように施工してください。  
例：（株）寺田電機製作所製：ケーブルキーパー（TD-1391）、OA タップキーパー（TD-1311）、AC プラグキーパー（TD-1462）



ケーブルキーパー施工例

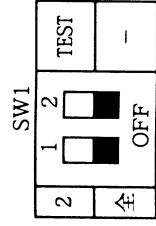


OA タップキーパー施工例



AC プラグキーパー施工例

| 症 状                                 | 原 因                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 処 置                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 電 源<br>電源が入らない。                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ TB2 端子 AC100-FG 接続ミス</li> <li>■ 1 次側に AC100V が流れていない。</li> <li>■ ヒューズが切れている。</li> </ul>                                                                                                                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 接続を確認してください。</li> <li>● TB2 端子 AC100V をテスターで確認してください。</li> <li>● F1・F2 をそれぞれ確認してください。(本体の電源ランプ確認)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 火災通報装置本体の火災通報ボタンを押しても 119 番通報ができない。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 回線種別の設定がまちがっている。</li> <li>■ 電話回線の接続がまちがっている。<br/>(ピンク電話回線は接続できません。<br/>ISDN 回線はターミナルアダプタが必要です。)</li> <li>■ 他の装置の後ろに本体が接続されている。(ACR アダプタ (0088 等の番号を自動的に付加するアダプタ) がついている)</li> <li>■ 本体が登録モードになっている。</li> <li>■ ディップスイッチ (SW1) が TEST 側に設定されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電話回線のダイヤル方式を確認し、正しい設定にしてください。<br/>ダイヤル式 (DP10・DP20) プッシュボタン式 (PB)</li> <li>※ I P 回線では回線終端装置の仕様により、回線種別設定が異なります。回線終端装置の仕様を確認してください。</li> <li>● 付属ローゼットの L1・L2 に通信事業者からの電話回線が接続されているか確認してください。<br/>「確認方法」<br/>ローゼットの L3・L4 に接続されている線をはずし、L1・L2 にテスターであたり DC48V あるかを確認する。<br/>(テスト用送受話器にてトーンが出ているか確認)</li> <li>● 電話回線の接続を、まず初めに本体をローゼットの L1・L2、他の装置をローゼットの L3・L4 側につけ替えてください。</li> <li>● テンキーの E を押し登録モードを解除してください。<br/>「確認方法」<br/>登録確認用 LED に「.」が表示されている場合登録状態。</li> <li>● ディップスイッチ (SW1) の 1 を (全側) としてください。<br/>ディップスイッチ (SW1) の 2 を (一側) としてください。</li> </ul> |



|                            | 症 状                                                   | 原 因                                                                                                                                                                                        | 処 置                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----------------------------|-------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1<br>1<br>9<br>番<br>通<br>報 | 火災通報専用電話機の火災通報ボタンを押しても 119 番通報ができない。                  | <p>■ 本体と火災通報専用電話機間の配線がまちがっている。</p> <p>■ 専用電話機内のコネクタがはずれている。</p> <p>■ ディップスイッチ (SW1) がテスト側に設定されている。</p>                                                                                     | <p>● 正確に接続してください。<br/>「確認方法」<br/>火災通報専用電話機の F + ・ F - をテスターであたってください。約 DC13.8V あれば、ボタンが押されていない状態。OV なら押された状態または、接続状態を確認してください。</p> <p>● コネクタをきっちりとはめてください。</p> <p>● ディップスイッチ (SW1) の 1 を (全側) に設定してください。<br/>ディップスイッチ (SW1) の 2 を (一側) に設定してください。</p>    |
| 逆 信                        | 消防から逆信を送っているが火災通報専用電話機から呼出し音が鳴らない。(送受話器をあげると、通話ができる。) | <p>■ 火災通報専用電話機のフックがあがっている。</p> <p>■ 一般電話機と外線が露出タイプローゼットの 1, 2 に接続されている。(FAX と同じ外線は、逆信時 FAX が着信してしまうため使用できない。)</p> <p>■ 消防から逆信で一般電話機が鳴動する。</p> <p>■ 逆信待ちの 10 秒間に電話局交換機などからの逆信信号が届いていない。</p> | <p>● フックを確実にかけてください。<br/>「確認方法」<br/>本体の HOOK と GND の端子をテスターであたり約 DC13.8V あるか。(OV ならフックがあがっている。)</p> <p>● 一般電話機を露出タイプローゼットの 3, 4 に接続してください。</p> <p>● ジャンパピン JP2、JP3 が ON になっている。P.30 参照</p> <p>● 消防指令台の逆信操作を速やかに且つ 3 秒以上の長押しで行っていただけるよう、消防局に依頼してください。</p> |
| 設 定                        | 消防で逆信操作を行っていないのに逆信が返ってきてしまう。                          | ■ IP 回線に接続している。                                                                                                                                                                            | ● IP 回線で通報を行った場合、IP 回線のコールバック機能 (自動呼び返し機能) により自動的に呼び返しが掛かります。                                                                                                                                                                                            |
| 設 定                        | テンキーから設定ができない。                                        | ■ 本体とテンキーのコネクタがはずれている。                                                                                                                                                                     | ● 確実に接続してください。                                                                                                                                                                                                                                           |
| 応 答・ 確 認 ランプ               | 火災通報専用電話機の火災通報ボタンを押しても、応答確認ランプが赤色点滅しない。               | <p>■ 本体と火災通報専用電話機の配線がまちがっている。</p> <p>■ 火災通報専用電話機から本体まで距離が長い。</p> <p>■ 560Ω の抵抗がついていない。</p> <p>■ 火災通報専用電話機 3 台以上の場合、増設電源装置がついていない。</p>                                                      | <p>● 正確に接続してください。</p> <p>● 距離を短くしてください。<br/>配線条件については 6 - 2 項を参照してください。</p> <p>● 抵抗をつけてください。</p> <p>● 増設電源装置をつけてください。</p>                                                                                                                                |
| 注 意 ランプ                    | 注意ランプが黄色点滅している。                                       | ■ F1 土、F2 土の配線で断線および短絡が発生した。                                                                                                                                                               | ● 断線、短絡個所を修復し、火災通報装置装置の内部基板上的のリセットスイッチ (SW2) を押す、もしくは装置を再起動してください。                                                                                                                                                                                       |



## 1 2－1. 適用回線

一般加入者回線、事業所集団電話回線（セントレクス）、IP 電話回線

注 1. 構内交換機の内線側には接続できません。

注 2. ISDN 回線に接続する場合は、必ずサクサ(株)製ターミナルアダプタ TA/T をご使用ください。（6－7. ターミナルアダプタ TA/T との接続参照）

注 3. 119 番への発信、119 番からの逆信ができない回線には使用できません。  
（例. 050-・・・から始まる番号の IP 電話、など）

注 4. 火災通報装置を接続する回線（IP 電話回線アダプタ等のアナログポート含む）が通報先応答にて極性反転（リバース）しない場合、一般通報機能を使用できません。

注 5. IP 電話回線をご使用になる場合には、関係する省令、告示に従い、設置・運用してください。

（10. IP 電話回線のご利用にあたっての注意事項 参照）

注 6. 火災通報装置を接続する回線が、通報先応答にて極性反転（リバース）しない通報先は、一般通報機能の通報先に登録できません。

（例. フリーダイヤル®等の着信課金サービスへの通報）

※フリーダイヤル®は、NTT コミュニケーションズの登録商標です。

## 1 2－2. ダイヤル種別

DP (10/20PPS) /PB

## 1 2－3. 通報先

|             |                                   |
|-------------|-----------------------------------|
| 通報先ダイヤル番号   | 119 または 0119 と一般通報（最大 24 桁）       |
| 通報先容量       | 119 と一般通報 16 ケ所                   |
| 不応答先への再ダイヤル | 98 回（119 番）<br>1 ケ所あたり 17 回（一般通報） |
| メッセージ       | 音声メッセージ 2 種類                      |

注. 0119 は事業所集団電話回線（セントレクス）に接続したときに使います。

## 1 2－4. 入力

火災通報ボタン・自火報… 2（無電圧 a 接点入力）

## 1 2－5. 出力

|                             |               |
|-----------------------------|---------------|
| 火災報知ベル…………… 1（12V 有電圧出力）    | } 合計 300mA 以下 |
| 消防確受ランプ…………… 1（12V 有電圧出力）   |               |
| ボタン線短絡／断線…………… 1（12V 有電圧出力） |               |

## 1 2－6．電気的特性

|         |                                                                                 |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 電源      | AC100V±10% (50／60Hz) 予備電源内蔵                                                     |
| 外部供給電源  | DC12V (+3V、－2V) 最大 300mA                                                        |
| 使用温湿度範囲 | －5℃～＋40℃ 30%～80% (結露なきこと)                                                       |
| 消費電力    | 待機時 7VA、動作時 15VA (最大負荷時)                                                        |
| 停電動作    | 最大負荷時：<br>1 時間待機状態経過後、10 分間の通報動作が可能<br>外部出力等負荷なし時：<br>6 時間待機状態経過後、10 分間の通報動作が可能 |

## 1 2－7．火災通報装置の耐用年数

7 年

## 1 2－8．寸法・重量

火災通報装置

外形寸法・重量：315(H)×230(W)×65(D)mm 約 2.0kg (予備電源含む)

火災通報専用電話機

外形寸法・重量：220(H)×100(W)×76(D)mm 約 0.6kg

## 1 2－9．予備電源の耐用年数

約 3 年

〔設定値一覧〕

設定の際は、必ず下記に設定値を記入してください。 設定値記入日( 年 月 日)

| コード □□# | 登録項目                                                          | 初期値 | 設定値       |     |     |
|---------|---------------------------------------------------------------|-----|-----------|-----|-----|
| 01～16   | 一般通報先                                                         | —   | コード<br>番号 | 0 1 | — — |
|         |                                                               |     |           | 0 2 | — — |
|         |                                                               |     |           | 0 3 | — — |
|         |                                                               |     |           | 0 4 | — — |
|         |                                                               |     |           | 0 5 | — — |
|         |                                                               |     |           | 0 6 | — — |
|         |                                                               |     |           | 0 7 | — — |
|         |                                                               |     |           | 0 8 | — — |
|         |                                                               |     |           | 0 9 | — — |
|         |                                                               |     |           | 1 0 | — — |
|         |                                                               |     |           | 1 1 | — — |
|         |                                                               |     |           | 1 2 | — — |
|         |                                                               |     |           | 1 3 | — — |
|         |                                                               |     |           | 1 4 | — — |
|         |                                                               |     |           | 1 5 | — — |
|         |                                                               |     |           | 1 6 | — — |
| 17      | 一般通報先のシリーズコール                                                 | 0   |           |     |     |
| 18      | 一般通報時の火災報知ベル・消防確受ランプ出力                                        | 1   |           |     |     |
| 19      | メッセージの切替                                                      | 1   |           |     |     |
| 20      | 一般通報時の応答                                                      | 1   |           |     |     |
| 26      | 音声検出用レベル                                                      | 1   |           |     |     |
| 27      | メッセージ送出開始時間                                                   | 0   |           |     |     |
| 31      | 回線種別                                                          | 3   |           |     |     |
| 33      | 0 発信の設定                                                       | 0   |           |     |     |
| 34      | 自火報入力時の固定フレーズ内容                                               | 0   |           |     |     |
| 35      | 一般通報メッセージ送出時間                                                 | 1   |           |     |     |
| 36      | 通話割り込みタイミングの設定                                                | 0   |           |     |     |
| 37      | 火災通報ボタン押下時、自火報入力時の不定フレーズ内容                                    | 1   |           |     |     |
| 38      | 一般通報時のモニター                                                    | 1   |           |     |     |
| 39      | 押しボタンなどで通報し 119 番が応答するまでの間に、通話割り込みボタンを操作することによって通報の取り消しを行える機能 | 0   |           |     |     |
| 40      | 送信メッセージ「逆信してください」の付加                                          | 0   |           |     |     |
| 41      | F1+,F1-/F2+,F2-短絡監視機能                                         | 0   |           |     |     |
| 43      | F1+, F1-断線監視機能                                                | 0   |           |     |     |
| 44      | F2+, F2-断線監視機能                                                | 0   |           |     |     |
| 45      | 発信時の電話番号最終桁へのダイヤル付加機能<br>(PB 発信時のみ有効)                         | 0   |           |     |     |
| 46      | 使用せず                                                          | 0   |           |     |     |
| 47      | 使用せず                                                          | 1   |           |     |     |

注)登録項目の内容については「7. 設定および登録」(P.22～)をご参照ください。

# **NOHMI** 能美防災株式会社

本社／〒102-8277 東京都千代田区九段南4-7-3 TEL.(03)3265-0211

|                     |                 |                  |                  |
|---------------------|-----------------|------------------|------------------|
| 支社／北海道(011)746-6911 | 東北(022)221-2695 | 新潟(025)243-8121  | 丸の内(03)3213-1781 |
| 茨城(029)225-2600     | 千葉(043)266-0303 | 北関東(048)669-2255 | 西関東(042)643-1520 |
| 横浜(045)682-4700     | 静岡(054)247-3211 | 中部(052)915-2411  | 長野(026)227-5521  |
| 金沢(076)252-6211     | 関西(06)6330-8661 | 京都(075)694-1192  | 中国(082)510-1125  |
| 岡山(086)244-4222     | 九州(092)712-1560 |                  |                  |
| 営業所／旭川(0166)35-7824 | 青森(017)729-0532 | 盛岡(019)645-0552  | 秋田(018)862-5086  |
| 郡山(024)947-1194     | 福島(024)528-4195 | 羽田(03)5757-9393  | 渋谷(03)3461-1051  |
| 杉並(03)3306-0451     | 城東(03)3626-2461 | 五反田(03)3779-9737 | 土浦(029)822-3851  |
| 宇都宮(028)637-4317    | 群馬(027)328-1567 | 埼玉西(049)247-4640 | 川崎(044)233-5773  |
| 沼津(055)923-9669     | 浜松(053)473-3422 | 三重(059)226-9860  | 富山(076)444-1450  |
| 福井(0776)21-0056     | 神戸(078)334-3581 | 四国(087)868-6811  | 北九州(093)583-3344 |
| 長崎(095)845-0135     | 熊本(096)360-1051 | 大分(097)543-2778  | 宮崎(0985)28-8792  |
| 鹿児島(099)253-8196    | 沖縄(098)862-4297 |                  |                  |

URL <http://www.nohmi.co.jp/>

お問い合わせは…